



日本の農業

▼指導ページ P 4 ~ 13 ▼

指導のねらい ★日本の農作物の作り方と問題点を理解する。
★生産を高める工夫と農業の問題点を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 日本の稲作 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 稲作中心の日本の農業 米＝日本の気候に合った作物・日本人の主食 食生活の洋風化→作付面積・生産額ともに減少</p> <p>(2) 稲作の作業…1年を通じてさまざまな作業 種もみ選び→育苗→田起こし→代かき→田植え→ 中干し→稲刈り→だっこく</p> <p>(3) 稲作のさかんな地域 東北地方 日本の総生産額の約4分の1 東北・北陸 冬は豪雪→夏の農業＝米の単作地帯</p> <p>(4) 稲作の問題点 ①食生活の変化→米あまり 減反政策…米の生産を減らし休耕・転作 ②「米ばなれ」防止策…「ブランド米」の開発 「米粉」などの新しい米の利用法の考案</p> <p>② 畑作・野菜・工芸作物・くだもの 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 日本の畑作…小麦・大豆・とうもろこし・いも類 十勝平野…北海道の畑作の中心 シラス台地(鹿児島)…さつまいも</p> <p>(2) 野菜の生産 ①近郊農業(千葉・茨城・兵庫など) 大都市周辺…消費地に近い 新鮮な野菜や草花 ②促成栽培(宮崎・高知など) ビニールハウスで、夏野菜の早づくり ③高冷地農業(長野・群馬など) 夏でも涼しい 高原野菜のおそづくり</p> <p>(3) 工芸作物の生産 工場で加工される原料作物 茶の栽培…牧ノ原台地(静岡) さとうきび・てんさい→砂糖 い草→たたみ表</p> <p>(4) くだもの生産 ・りんご…津軽平野が有名。青森が生産高日本一 ・みかん…和歌山・愛媛が有名。だんだん畑で栽培</p> <p>③ 日本の畜産業 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 高まる畜産業の重要性 食生活＝和風→洋風 肉・乳製品などの消費拡大 さかんな地域 北海道・鹿児島・宮崎</p> <p>(2) 畜産業の問題点 ①飼料が輸入中心なので畜産物の価値が変動 ②畜産物自体の輸入</p> <p>④ 生産を高める工夫 【基本2】</p> <p>(1) 集約農業 耕地面積は国土の約12%→集約農業(多くの人手と肥料)</p> <p>(2) とれ高を増やす工夫…耕地改良 たな田・だんだん畑・干拓・客土・排水・用水路</p> <p>⑤ 農業の問題点 【基本2】</p> <p>(1) 輸入にたよる農産物 アメリカ・中国などから輸入→自給率約40%</p> <p>(2) 農業の高齢化 産業の多様化→農業をやる人が減少＝あとつぎ不足</p> <p>⑥ 「食の安全」をめざして</p> <p>①有機農業…化学肥料の不使用、たい肥の活用、循環型農業の構築</p> <p>②産地表示…産地表示の義務、生産から消費までの流通経路の追跡(トレーサビリティ)</p> <p>発展学習</p> <p>① 国境をこえる安全性の問題 鳥インフルエンザ・狂牛病(BSE)</p> <p>② 高級ブランド 日本の農産物</p> <p>(1) 高級な農産物の輸出 ブランド米・日本産りんご・和牛</p> <p>(2) 高級ゆえのなやみ 種や苗の厳重な管理・品種名の商標登録</p>	<p>① 日本の稲作</p> <p>日本の稲作…新潟県の越後平野は、昔から水はけの悪い湿田で、排水や分水路の建設で改良。北海道の石狩平野は、昔から耕地に不向きな泥炭地で、他の土地の農業に合う土と入れ替えること(客土)によって水田地帯に改良。</p> <p>② 畑作・野菜・工芸作物・くだもの</p> <p>(1) 砂糖(グラニュー糖)の原料になるてんさい(ビート)は北海道でのみ栽培されている。 火山灰がつもってできたシラス台地(鹿児島～宮崎)では、畜産業がさかんで、家畜の飼料が栽培されている。さつまいもの「さつま」は鹿児島の古い国名からきている。</p> <p>(2) ①野菜や草花は大都市で大量に消費されるので、鮮度を保ちやすい都市の周辺で多く栽培されている。近年は鮮度を保つ技術や輸送手段が発達したので、都市から遠い地域でも野菜や草花が生産されるようになり、都市近郊で生産量の少ない時期に生産・出荷されている。 ②促成栽培は、温暖な気候やビニールハウスなどの設備を利用して生産の時期を早めている。 ③長野や群馬などの高地(高原)は一年中涼しいので、夏のおそづくりで生産出荷時期をおくらせている。</p> <p>(3) い草→住居の洋風化で和室が減り、たたみ表の生産は減少</p> <p>(4) 高い山に周囲を囲まれている盆地は強い風を防ぎ、くだものを守っている。扇状地の水はけのよさがぶどう栽培に適している。 →甲府盆地は、ぶどうを原料にワインづくり</p> <p>③ 日本の畜産業</p> <p>(1) 根釧台地の酪農は初期の実験農場(パイロットファーム)から新酪農村へと一戸当たりの農地面積や乳牛の頭数など規模は拡大したが、個々の酪農家の生活は楽でなく、酪農家の数は減っている。</p> <p>(2) BSEや鳥インフルエンザなどの病気が食肉業にむずかしい問題を引き起こしている。</p> <p>④ 生産を高める工夫</p> <p>(1) 農業従事者が減少傾向にある中、若者を中心にエコブームより農業を見つめ直す運動などが行われている。 しかし、集約農業を目指す国々の中で日本の農業就業人口は他国の人口には及ばない。</p> <p>(2) 歴史上でも古来日本では農地に対しての工夫は多くあり干拓や用水路などは、アジアの国々に技術提供をするほどである。</p> <p>⑤ 農業の問題点</p> <p>(1) 日本は国際的な貿易のバランスを保つために、食料を外国から輸入するようになった。値段が安い外国の食品は、消費者にはよいが日本の農家は経済的に苦しくなる。外国の食品は遺伝子組み替えや農業の安全基準が日本と違うため問題が多い。BSEや鳥インフルエンザが原因で食料の輸入が制限されると、外国に食料をたよっている日本では食料の値段が高くなり、(景気も悪くなり)経済活動や生活が苦しくなると思われる。</p> <p>(2) 農村から若い人々が離れていき、農業にたずさわる人が高齢化しているのも大きな問題点である。1990年には農業就業人口に占める65歳以上の人の割合は3割強であったが、2014年には6割を超えている。</p> <p>・TPP(環太平洋経済連携協定)</p> <p>太平洋を取りまく国々が貿易やサービスの動きを自由化する取り決めのことで、アメリカやオーストラリア・日本など12か国が参加している。(2015年現在)</p> <p>日本はTPP参加で自動車など工業製品の輸出が伸びることが期待されているが、一方で、参加国からの安い農産物が輸入され、国内の農業が大きな打撃を受けることが懸念されている。</p> <p>⑥ 「食の安全」をめざして</p> <p>環境にやさしい有機農法や有機栽培は、まだ生産量が少なく値段が高いという問題点がある。水田でカモを飼い、その排せつ物を肥料にするアイガモ農法や生ゴミを発酵させて自然肥料にする工夫などが期待されている。</p>

指導のねらい ★日本のおもな水産物と漁業の種類を理解する。
★魚を増やす努力と水産業の問題点を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 日本の水産業 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 世界一だった日本の水産業 ・へってきた魚の消費量→日本人の食生活の変化 ・世界の漁獲量 現在では中国が漁獲量世界一</p> <p>(2) 日本でとれるおもな魚 ①いわし(日本最多→漁かく量減少)・さば…まきあみ漁法 ②まぐろ…はえなわ漁法, かつお…一本づり(高知) ③すけとうだら(北洋)→かまぼこ・ちくわの原料 底引きあみ漁法</p> <p>(3) 日本のおもな漁港・漁場 ①銚子港(千葉県)…沖合漁業(さば・いわし・さんま) ②焼津港(静岡県)…遠洋漁業(かつお・まぐろ) ③境港(鳥取県)…かにの水あげが多い ④釧路港(北海道)…北洋漁業基地(すけとうだら・さけ・ます) ⑤八戸港(青森県)…三陸沖(潮目…豊富なプランクトン)に出漁・いかの水あげが多い 石巻港(宮城県)…三陸沖(潮目…豊富なプランクトン)に出漁・東日本大震災(津波被害)</p> <p>② 漁業の種類 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 海のはんい 領海 = 12 カイリ, 経済水域 = 200 カイリ 1 カイリ = 1852m 公海 = どの国にも属さない</p> <p>(2) 漁業の種類 ①沿岸漁業 ・特色…小型船(10 t 未満), 領海内 12 カイリまで あじ・たら・たい・さばなど ・問題点…赤潮など海の水質(→魚介類が死滅)</p> <p>②沖合漁業 ・特色…中型船(10 t 以上), 経済水域内 200 カイリまで いわし・さんま・さば・かれい・すけとうだらなど ・問題点…海水温や潮流の変化, 漁獲量の減少</p> <p>③遠洋漁業 ・特色…大型船(数百 t), 経済水域外(数週間~数か月) まぐろ・かつおなどの大型魚 ・問題点…オイルショック(石油危機)(1973)以来 船の燃料費が高くなる。経済水域の設定(1977)→自由に漁業ができない。→ 漁獲量が大幅に減少。</p> <p>③ 魚を増やす努力 【基本1】</p> <p>(1) 「とる漁業」から「育てる漁業」へ 安定した供給→育てる漁業</p> <p>(2) 養殖漁業 卵→いけすで育てる→成長(養殖)</p> <p>(3) 栽培漁業 卵を人工的にふ化, 稚魚を放流</p> <p>④ 水産業がかかえる問題</p> <p>(1) 輸入にたよる日本の水産業 ふえる魚介類の輸入→<u>世界一の水産物輸入国</u>・自給率約 50% おもな輸入先…中国・チリ・アメリカ</p> <p>(2) 高齢化する水産業 大部分は小規模, 漁業で働く人は大幅に減少, 高齢化</p> <p>発展学習</p> <p>① 地球環境と水産業</p> <p>(1) 「和食」(ユネスコ無形文化遺産) →クロマグロ・ニホンウナギの乱かく</p> <p>(2) 東南アジアにおけるえびの養殖 →熱帯林(マングローブ)の破壊</p> <p>② 持続可能な水産業をめざして</p> <p>(1) クロマグロの完全養殖 →2002年に近畿大学が養殖に成功</p> <p>(2) 森林保護(植林)→水に養分がとけ出す→プランクトン増加→魚介類の安定供給</p>	<p>① 日本の水産業</p> <p>(3) 潮目[潮境] 寒流と暖流の会うところ, 寒流にすむ魚も暖流にすむ魚も出会うので, 多くの種類の魚介類が多数集まる。えさとなるプランクトンも多いので, 漁場としては適している。 大陸だな ユーラシア大陸から東シナ海にせり出している, 浅い海底で, 海の底まで日光が届き, 魚介類のえさとなる植物やプランクトンが多く, 魚介類が集まってくるので潮目とともに好漁場となっている。</p> <p>② 漁業の種類</p> <p>3つの漁業の特色では次のような点を押さえる。 ・船の大きさ ・漁業を行う場所(領海と経済水域の差異に注意) ・1回の出漁期間 ・とれる魚の種類や魚の捕り方(漁法)</p> <p>領海(12 カイリ)は領土とほぼ同じようなあつかい。 経済水域(200 カイリ)は歴史的に新しく, 経済的利益や資源保護のために他国の漁船の漁獲量や漁獲できる期間などにそれぞれの保有国が厳しい制限をしている。</p> <p>漁業の問題点 ・水質汚染(工業用水・生活排水)による赤潮等 赤潮はプランクトンなどの微生物が大量に増え, 酸素が足りなくなってそのままにしておくと結局は水中の生物が全て死滅してしまう。 ・沖合の水温の上昇(地球の温暖化)や潮流の変化(メキシコの沖の高温な潮流 = エルニーニョ)が西にも広がり, 日本の沖にまでやってくる。環境の変化が魚介類に被害をもたらすと予想される。 ・様々な制限(経済水域, 資源保護)→自由に魚をとることができなくなったので, 日本の遠洋漁業はふるわなくなった。 →遠洋でとれるまぐろなども養殖をめざしている。(「とる漁業」から「育てる漁業」へ) ・経済的負担(石油・船舶維持等)特に船の燃料の石油は産地がアラビア湾周辺に集中しているので, ここに紛争があると, 石油の高騰が予想され, 遠洋漁業にさらに大きな打撃を受けることになる。</p> <p>③ 魚を増やす努力</p> <p>養殖漁業 ①のり…兵庫県でさかん(収穫量3位, 1位は佐賀県, 2位は福岡県)。 ②かき…1位は広島県(全国の約65%), 2位は岡山県。 ③ほたて貝…サロマ湖(北海道)・陸奥湾(青森県)。 ④真珠…リアス(式)海岸: 志摩半島(三重県), 大村湾(長崎県), 愛媛県が有名。 ⑤うなぎ…愛知県でさかん(収穫量2位, 1位は沖縄県, 2位は鹿児島県)・浜名湖(静岡県)が有名。</p> <p>魚を増やす工夫と同時にその問題点も押さえよう。 養殖業の問題点 ①赤潮などで漁獲量が減る。 ②エサ代やいけすの費用がかかる。</p> <p>栽培漁業の問題点 特定種類の魚だけが増えることで生態系が壊れる。</p> <p>④ 水産業がかかえる問題点</p> <p>資源保護のために栽培漁業のさらなる発展が見込まれている。 日本向けの魚介類の養殖にはよい面もあれば問題点もある。 よい点 オーストラリアでは, 日本と同じような事情で遠洋漁業がふるわなくなり危機を迎えていたが, 日本との技術協力で, 日本向けの栽培漁業がさかんになって息を吹き返した。 問題点 インドネシアでは, 日本向けのえびの養殖がさかんになったが, その一方で養殖場のため, マングローブの林が切り出され, 熱帯林が破壊されている。二酸化炭素を吸収する森林の破壊は地球温暖化など環境を損なう。</p>

指導のねらい ★日本が輸入にたよる地下資源と発電の方法を確認する。
★林業のさかんな地域と作業の流れを学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 日本の資源 【基本1】</p> <p>(1) 輸入にたよる資源 「日本は鉱物の標本室[博物館]」…鉱物資源の種類は多いが、利用できる量は少ない。 工業・発電に必要な資源→外国から輸入(自給率6.3%) 日本で100%自給=石灰石</p> <p>(2) 日本で使われるおもな資源</p> <p>①石炭 「黒いダイヤ」1960年代に石油がエネルギーの中心「エネルギー革命」により地位低下</p> <p>②石油 原油を精製して作られる重油やガソリンをまとめていう 新潟県や秋田県でわずかに産出 輸入の80%以上が中東地域</p> <p>③天然ガス 石炭や石油よりもクリーン(空気を汚さない)→火力発電 液化天然ガス(LNG)として輸入 新潟県や千葉県でわずかに産出</p> <p>④ほかのさまざまな資源 鉄鋼…鉄鉱石(オーストラリア・ブラジル)+石炭+石灰石 銅線や硬貨…銅鉱(チリ・オーストラリア)</p> <p>② 日本の発電 【基本1】</p> <p>(1) 火力中心の日本の発電 火力発電の燃料-石油・石炭・天然ガス</p> <p>(2) さまざまな発電の方法</p> <p>①水力発電…川の上流の山間部(山沿い) ・長所:燃料がいらす・空気もよごさない ・短所:ダム建設に多額の費用・森林破壊のおそれ・発電量が少ない</p> <p>②火力発電…資源を輸入→太平洋側の臨海部(海沿い) ・長所:建設費用が安い・水力より発電量が多い ・短所:燃料燃やす→二酸化炭素=地球温暖化 ↳大気汚染</p> <p>③原子力発電…原子炉の冷却水が必要→海沿い ・長所:二酸化炭素が発生しない・火力より発電量が多い ・短所:放射能の被害…チェルノブイリの爆発事故(1986) 東日本大震災(福島第一原子力発電所)(2011) 放射性廃棄物の処理…青森県六ヶ所村</p> <p>④再生可能エネルギーによる発電 天然資源の活用(風力・地熱・太陽光) ・長所:燃料輸入が不要・空気もよごさない ・短所:発電量が少なくコストが高い・天候などに左右されて供給が不安定・設備は場所が限られる</p> <p>③ 日本の林業 【基本2】</p> <p>(1) 森林が多い日本…森林は国土の約3分の2 木の種類 針葉樹(杉・檜)が約3分の2 広葉樹(ぶな):生長は遅いが、保水力は強い。</p> <p>(2) 林業の作業 林業の流れ ①植林→②下草がり→③枝うち→④間伐→⑤伐採(①~⑤40年~70年かかる) 天然の三大美林:津軽ひば・秋田すぎ・木曾ひのき 人工の三大美林:吉野すぎ・尾鷲ひのき・天竜すぎ</p> <p>(3) 輸入にたよる木材…木材自給率およそ29% おもな輸入先:北アメリカやロシア</p> <p>(4) おとろえる林業 きつい労働, 安定しない収入:わかいあとつぎ不足→高齢化</p> <p>発展学習</p> <p>① 消えた日本の炭鉱</p> <p>(1) 夕張市…1950年代「炭鉱の町」→衰退</p> <p>(2) 長崎県「端島炭鉱」(軍艦島)→炭鉱閉山→無人島(廃墟) →2015年「明治日本の産業革命遺産」(世界文化遺産)</p> <p>② 林業のむかしといま</p> <p>(1) 人々の手が入る(燃料のたき木, 肥料の落ち葉) 間伐された木→割りばしやえんぴつに加工→木の製品を使う=森林保護</p> <p>(2) 人手が入らなくなる→森林ある</p>	<p>① 日本の資源</p> <p>費用と危険をとまなう石炭…日本では地表を残して地下にもぐらが巣をつくるように狭い穴(坑道)を縦横に掘りながら石炭をとる。おまけに地表は掘りつくしどんどん深くまで掘るので、落盤(坑道が崩れ落ちる)事故が頻発し、多くの死傷者が出た。</p> <p>日本のエネルギー革命(石炭→石油, 水力発電→火力発電) 高度成長期(1955-73年)重化学工業製品の増大で石炭よりもっと安い燃料が必要となり値段の安い石油を輸入するようになる。 日本の工業資源:石炭→石油。発電:水力発電→火力発電。 重化学工業や火力発電:石油を燃やすとき空気中に排出される有害ガス(ぜんそくや酸性雨のもと)や温暖化のもとになる二酸化炭素が重大な問題点となる。</p> <p>☆シェールガス・シェールオイル 地下数百~数千メートルにある頁岩層(シェール層)に含まれる天然ガスや石油をいう。地下深く固い地層なので、採掘が困難だったが、21世紀に入り、低コストで採掘できる技術が確立したため、採掘が本格的に行われるようになった。最も生産が盛んなアメリカでは、液化天然ガスの自給が実現し、約50万人の雇用が創出されたことから、「シェールガス革命」という言葉が使われている。また、カナダ、ヨーロッパ諸国、中国、インドなど世界の主要国が資源開発に乗り出しており、日本では、アメリカからの天然ガスの輸入も検討されている。開発に巨額の費用がかかり、開発に使われる薬品による地下水汚染などの環境破壊を招くという問題が起こっている。</p> <p>② 日本の発電</p> <p>火力発電→原子力発電</p> <p>73年中東で戦争が起こると、中東の産油国は石油の輸出を減らしたり、値段を上げた。日本の石油はほとんど中東からの輸入に頼っていたので、その影響で、物価が上がり経済的に大きな打撃を受け(経済は停滞して)高度経済成長の時代も終わった。この時期から石油から効率のよい原子力発電へのきりかえが進んだ。原子力発電には処理の難しい放射能を含む廃棄物が出るのが問題点。(なお、03年には、原子力発電所の安全点検のための長期停止が夏の電力不足の不安をまねいた。)</p> <p>③ 日本の林業</p> <p>豊富な種類 山地が多い・南北に長い様々な気候 亜寒帯針葉樹(年平均気温1~6℃…中央高地・東北~北海道) …エゾマツ・トドマツ 温帯広葉樹(本州以南) ・落葉広葉樹(山地)(年平均気温6~13℃)…ブナ・ミズナラ・カエデ ・常緑広葉樹(低地)(年平均気温14~15℃)…カシ・シイ・クスノキ 亜熱帯(四国南部・九州・西南諸島・沖縄)(年平均気温16~18℃) …ヘゴ・ソテツ・ビロウ</p> <p>☆温暖化のしくみとの関連 二酸化炭素やメタンガスが空気中に増えると熱が大気の外に逃げるのを妨げるはたらき(温室効果)がある。このため、二酸化炭素が増えると平均気温が上昇して極地の氷がとけ出し海面は上昇。海沿いの低い土地は水没するおそれがある。森林は空気中の二酸化炭素を吸収して酸素をつくり放出するので、温暖化を防ぐことができる。</p> <p>☆緑のダム 森の樹木は根から多くの地下水をくみあげ生活エネルギーをつくり出す。山の樹木を切り出してはげ山にすると、樹木というポンプがなくなり山の地下水はあふれ出てふもとに洪水を引き起こす。東南アジアで急激な乱開発で山の森林を伐採した後に大洪水が起きたことがある。(→最近では水力発電所をつくる時植林も同時に行う。)</p> <p>☆森林が海の生物を育てるとはどんな意味? 森に住むたくさんの生物の排出物や死がい、樹木が落とす枯れ葉や枯れ草は地中に住む小さな虫や微生物によって分解され養分となって土の中に貯えられる。その養分は地下水にとけ出し、川などを通して、海へと運ばれ、海の生物たち(魚介類やそのえさとなるプランクトンなど)を養うのである。「森が魚を育てる」とは、このような養分の自然界の大きな循環移動を意味する。</p>

4

工業の種類

▼指導ページ P 34 ~ 43 ▼

指導のねらい ★日本の工業の種類と各工業の特徴を確認する。
★日本の伝統的工芸品の特徴とさかんな地域を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 工業の種類 【基本1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重化学工業 = 重工業 + 化学工業(石油を原料) 重工業…金属(製鉄)・機械(自動車) ・軽工業…食料品・せんい工業(衣類)・製紙・印刷・よう業(陶磁器)など←日用品 <p>戦前の日本→せんい工業を中心とした軽工業 戦後の日本→金属工業、機械工業などの重化学工業</p> <p>② 重化学工業 【基本1】</p> <p>(1) 金属工業…鉄・銅・アルミニウムなど</p> <p>①鉄鋼業(製鉄業)：鉄鉱石(原料)→鉄・鉄くず→鋼 金属工業の中心「産業の米」(全産業の土台) 日本は生産高世界第2位(第1位は中国)</p> <p>②そのほかの金属工業 アルミニウム→ボーキサイトが原料 銅→電線などに使用 ニッケル・コバルト→レアメタル</p> <p>(2) 機械工業…自動車・船・ロボット・精密機械・電子部品など、現在の日本の工業の中心</p> <p>①自動車工業 広い用地が必要→内陸部 *流れ作業・分業</p> <p>②自動車工業の作業 30000個もの部品→関連工場にて生産「ジャストインタイム方式」</p> <p>③そのほかの機械工業 ・自動二輪(オートバイ)…浜松(静岡)でさかん ・造船業…長崎・佐世保…リアス(式)海岸 ・産業用ロボット…生産台数・使用台数ともに世界一 ・精密機械(時計・カメラ)…諏訪・岡谷(長野) ・電子部品…IC(集積回路)の生産 半導体・集積回路を中心に空港、高速道路周辺に工場</p> <p>(3) 化学工業…プラスチック・ゴム・薬品・化学肥料など 石油化学工業…ナフサ(原油)→プラスチック、ゴム・薬品 タンカーの入る港+精油所+火力発電所+石油化学工場 →石油化学「コンビナート」 太平洋ベルトに多く建設</p> <p>③ 軽工業 【基本1】</p> <p>(1) せんい工業 綿織物(綿花)・毛織物(羊毛)：愛知 化学せんい(石油)：福井 近年、衣料は中国製品が優勢</p> <p>(2) よう業(窯業) ・陶磁器(焼き物)：愛知が日本一：瀬戸焼 ・セメント(石灰石)：秩父(埼玉)、宇部・小野田(山口) ・ファインセラミックス(ニューセラミックス) →ICの基板・人工骨・工具(はさみ)など広い用途</p> <p>(3) 食料品工業 農水産物→加工食品 醸造業 しょうゆ：野田・銚子(千葉)・酒</p> <p>(4) 製紙・パルプ工業 木材・パルプ→紙 きれいな水が必要→富士市(静岡)…生産額日本一他に、 苫小牧(北海道) 古紙が紙の原料の60%をこえる</p> <p>④ 伝統的工芸品 【基本2】</p> <p>(1) 伝統的工芸品とは？ 陶磁器・漆器・和紙・織物・墨・筆・人形など すぐれた伝統的工芸品→伝統証紙の使用許可(経済産業大臣)</p> <p>(2) 伝統的工芸品づくりの問題点 ・工業製品との競争 ・後継者不足 ・原料が国内で不足→外国(中国など)からの輸入</p> <p>発展学習</p> <p>① おもな伝統的工芸品と製法 全国各地で伝統を受け継ぎ、製作が行われている。</p> <p>(1) 陶磁器…有田焼(佐賀)、瀬戸染付焼(瀬戸焼)(愛知)など (2) 漆器…輪島塗(石川)、津軽塗(青森)など (3) 和紙…土佐和紙(高知)など</p> <p>② 日本各地の伝統的工芸品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府 - 西陣織・京友禅・清水焼 ・石川県 - 九谷焼・加賀友禅 ・福岡県 - 博多人形・博多織 ・秋田県 - かば細工・大館曲げわっぱ 	<p>① 工業の種類</p> <p>現在の日本の工業は機械を中心とする重化学工業が大きな割合を占めている。かつて日本は、桑を栽培、蚕を飼(養蚕)そのままから生糸をつくりすぐれた絹織物は輸出の花形。せんい工業を中心に軽工業がさかんだった。(日清・日露戦争のころから日本は本格的に重工業が発展し始めた。)</p> <p>② 重化学工業</p> <p>鉄鋼業 国産の石灰石以外の原料(鉄鉱石・石炭)はオーストラリアなどから輸入→太平洋側の臨海部「太平洋ベルト」(6-①)に工場が集中 アルミニウム工業「電気のかんづめ」 (ボーキサイトの電解製錬には大量の電気が必要) ・リサイクル…ボーキサイトからつくらず、アルミ缶を分別回収・とかして→アルミの地金に再生(電力の消費は大幅に節約できる。)</p> <p>自動車工業 日本最大の自動車工業都市…豊田市(企業城下町…自動車会社の工場を中心に町が発展) ハイブリッド自動車に続き、「燃料電池」(ガソリンのかわりに水素と酸素を燃料とする)で動く自動車をつくられている。有害な排気ガスを出さない(出すのは水だけ)、空気を汚さない、地球にやさしい無公害自動車の普及に第1歩を踏み出した。</p> <p>造船 リアス(式)海岸は、海に迫った山地が海に沈んでできたもの。尾根は岬、谷間は深い入り江となつてのこぎりのような形に入り組んだ海岸線ができた。波静かな入り江の奥は船の製造に適している。</p> <p>産業ロボット 産業用ロボットは、自動車の製造工程で本格的に活用され、ねだんの安い自動車を世界に送り出すのに大いに役だつた。産業ロボットはさらにアイボなどのペットロボットになり、まもなく高齢者のための介護ロボットになろうとしている。</p> <p>コンビナート コンビナートはロシア語で「結びつけられた(もの)」という意味である。旧ソ連で大河や工業原料(鉄鉱石・石炭)の産地の付近の広い用地に大規模な発電所や工場を建設し、これらを結びつけて原料から製品までを一貫してつくり出す巨大な重工業地帯を形成し、これをコンビナートと名づけた。日本の場合、原料を輸入する臨海部につくられた原料から製品までを1か所で処理するための石油化学工業関連施設(大型石油タンカー(港湾)→石油精製所→ナフサ処理→プラスチック製品などの加工製造工場)をいう。</p> <p>③ 軽工業</p> <p>ファインセラミックス ファインセラミックスは、もともと熱に強く、固く、腐らず、薬品に強い性質の陶磁器を接着・加工しやすく改良して複雑な形がつけられるようにしたもの。さらに材料の粒の大きさを整え、さまざまな用途の材料にすることができるようになった。例えば、熱に弱くさびやすい金属にかわって、ハサミや人工骨(損なわれた骨の代用)、自動車のセラミックスエンジンとして実用化されている。</p> <p>④ 伝統的工芸品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品の特色 <ol style="list-style-type: none"> ①伝統のある歴史 百年以上の歴史 ②手工業 手づくりによる味わいのある製品 ③高い芸術性 熟練した技術による芸術的な作品 ④くらしとの関係 地域に根ざした特徴のある製品 ・伝統的工芸品の保護の取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①国の保護 国(経済産業省)では「伝統的工芸品」の指定をして保護している。この指定を受けると、伝統証紙の使用が許されるとともに伝統を保つためにいろいろな援助を受けることができる。 ②技術者の育成 技術訓練所などの活用。 ③新しい技術の工夫 新製品をつくり、外国へ輸出。 ・伝統工業の抱える問題点 他の工業と比較することが有効 <ol style="list-style-type: none"> ①小規模経営 一つ一つが手づくりのため、大量生産ができない。そのため、ねだんも高いので多く出まわらない。 ②あとつぎの不足 技術を身につけるまでに長い年月がかかる。また若い人が都会へ出てしまい、伝統工芸の熟練技術者の激減・高齢化が進む。 ③原料の不足 生糸やうるしを主に中国から輸入するなど、輸入にたよる。 ④生活様式の変化 新しい製品の生産に伴う洋風化。洋間、フローリングのある床などがふえて、たたみのある和室が減っていくなど。

5

第1回～第4回のまとめ

▼指導ページ P 44～47▼

指導のねらい ★第1回～第4回までの重要事項を再確認し、徹底する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 第1回の復習 日本の農業 ・日本人の食生活の洋風化→稲作の重要性の低下 ・稲作の作業…種もみ選び→育苗→田起こし→代かき→田植え→中干し→稲かり→だっくく ・地域と品種…北海道「きらら397」「ななつほし」、新潟県「コシヒカリ」、秋田県「あきたこまち」、山形県「はえぬき」、宮城県「ひとめぼれ」 ・稲作の問題点…減反政策(生産調整)「休耕」「転作」 ・野菜の生産…近郊農業・促成栽培・高冷地農業 ・工芸作物…茶・こんにゃくいも・てんさい・さとうきび・い草 ・生産を高める工夫…たな田・だんだん畑、干拓、客土、排水、用水路</p> <p>② 第2回の復習 日本の漁業 ・沿岸漁業…領海内12カイリまで、こんぶ・いか漁 問題点…赤潮など海の汚れ(→魚介類が死滅) ・沖合漁業…経済水域内200カイリまで、いわし・さんま・さば 問題点…海水温や潮流の変化、漁獲量の減少 ・遠洋漁業…大型船、経済水域外 まぐろ・かつおなどの大型魚(数週間～数か月) 問題点…船の燃料費が高くなる。経済水域の設定(1977)→自由に漁業ができない。→漁獲量が大幅に減少。 「育てる漁業」の問題点 ・養殖:赤潮 ・栽培漁業:生態系の破壊</p> <p>③ 第3回の復習 日本のエネルギー 石炭(炭田)→石油(中東から輸入) →天然ガスの割合上昇(空気を汚しにくい) 発電 火力発電→地球温暖化の原因になる 水力発電→ダムを造る際森林破壊 原子力発電→放射性廃棄物の処理</p> <p>④ 第4回の復習 日本の工業 鉄鋼業:鉄鉱石(原料)→鉄・鉄くず→鋼を生産 機械工業:日本の工業の中心(特に自動車工業) 石油化学工業:ナフサ→プラスチック、ゴム せんい工業 食料品工業:農水産物→加工食品・醸造業 よう業 製紙・パルプ工業:木材・パルプ→紙 立地場所 鉄鋼・石油化学→原料を輸入→臨海部に工場 精密機械・製紙業→きれいな水 電子部品(IC)→飛行場・高速道路 →原料や部品を運ぶのに適した場所を考える</p>	<p>① 第1回の復習 有機農業…化学肥料の不使用、たい肥の活用、循環型農業の構築 産地表示…産地表示の義務、流通経路の追跡(トレーサビリティ) 国境をこえる安全性の問題…鳥インフルエンザ・狂牛病(BSE) 高級ブランド農産物の輸出…ブランド米・日本産りんご・和牛</p> <p>② 第2回の復習 漁業の方法とその特徴および問題点はおさえておきたい。 →漁業の問題は農業や工業に比べてポイントが少ない。 →グラフや絵から読み取らせる問題や、他国との関係・公害との関係で出題される可能性が高いことに留意したい。</p> <p>③ 第3回の復習 資源 日本の資源は他国との関係でおさえることが重要。 →資源が主にどこから輸入されているかということは頻出事項であるとともに他の分野との関連性が高い。 主に工業、諸外国との関係で取り上げられる。 石炭、石油、天然ガスの輸入先や利用割合・問題点をおさえる。 石油・天然ガスが新潟などでわずかに産出されることは指摘しておくことよい。 発電 各発電の特徴の他その建設場所もおさえておきたい。 水力(内陸部):ダムが必要。 原子力(若狭湾):冷却水が必要。 火力(太平洋沿岸):燃料の石油が運びやすい臨海部。</p> <p>④ 第4回の復習 日本の工業 それぞれがどんなものをつくっているのかというイメージが必要。 →それをつくるためには何が必要か。 →その原料(材料)を得るためにはどこが便利か。 という思考の流れをつくりたい。 中心となる生産地もその流れの上で覚えると忘れたときに思い出しやすい。 工業地帯(地域) 各工業地帯(地域)に関してはその特色とともに問題点も確認しておこう。また四大工業地帯とその他の工業地域で似ている部分が多いためその違いを理解しているかも確認しておきたい。</p>

6

工業の発達と工業地帯

▼指導ページ：P 48～57▼

指導のねらい ★工業が発達している地域の特徴を確認する。
★三大工業地帯の工業都市と特徴を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 工業のさかんな地域 【基本1】</p> <p>(1) 工業が発達する場所 ・工業用地・工業用水が多い・人口が多い ・港や交通の便がよい この条件に適している場所→太平洋ベルト</p> <p>(2) 三大工業地帯…生産額の多さ →中京・阪神・京浜工業地帯(三大工業地帯)</p> <p>② 京浜工業地帯 【基本1,2】</p> <p>(1) 京浜工業地帯の位置・特色…東京・神奈川の臨海部 [特色] 自動車・機械…出荷額の約50% 出版・印刷業…首都(政治・経済・文化の中心)</p> <p>(2) 京浜工業地帯のおもな工業都市…人口集中による過密化・公害→周辺の県への工場移転 ・東京都区部…印刷業・精密機械・電気機器 ・臨海地区…大田区：機械金属加工(町工場・高い技術力)、川崎：製油・鉄鋼・石油化学、横浜：自動車・造船、横須賀：自動車 ・その他…藤沢：自動車・電気機器、平塚：自動車・化学、相模原：電気機器</p> <p>③ 中京工業地帯 【基本1,2】</p> <p>(1) 中京工業地帯の位置・特色…愛知・三重・岐阜 [特色] 鉄鋼・自動車・せんい・陶磁器 →愛知が生産日本一(工業生産額でも日本一)</p> <p>(2) 中京工業地帯のおもな工業都市…自動車部品の下請けメーカー→自動車組み立て工場 ・自動車…豊田・岡崎・田原・小牧・鈴鹿 ・自動車部品…刈谷・安城・西尾・豊橋・いなべ ・陶磁器…瀬戸・多治見(ファインセラミックス) ・石油化学…四日市(四大公害病「四日市ぜんそく」) ・航空機…小牧・名古屋(国産初のジェット旅客機) ・電気機器…名古屋・知多。鉄鋼…東海</p> <p>④ 阪神工業地帯 【基本1,2】</p> <p>(1) 阪神工業地帯の位置・特色…大阪・兵庫・和歌山の大阪湾の沿岸を中心 [特色] 300人未満の中小工場が中心</p> <p>(2) 阪神工業地帯のおもな工業都市…戦前は日本一の工業地帯→せんい産業の出荷額減少 ・臨海地区…大阪：化学・金属、尼崎：金属製品、神戸：造船、堺：石油・化学・鉄鋼、高石：石油化学 ・内陸地区…門真・東大阪：電気機器、八尾：輸送機器 ・泉州・泉南地区…綿織物工業 ・その他…姫路・和歌山「鉄鋼」 ※2000年以降の動向…太陽光パネルや蓄電池の生産工場・化学医薬分野の新工場</p> <p>⑤ 九州地方北部の工業 【基本1,2】</p> <p>(1) 北九州工業地帯(地域)の位置・特色…かつては「四大工業地帯」の1つ [特色] 1901年操業開始の八幡製鉄所を中心に発展→鉄鋼業の衰退→地位低下 ①戦後、鉄鋼原料の輸入先の変更 ②九州北部にあった炭鉱が閉山 ③工業の中心が、金属から機械に変化</p> <p>(2) 九州地方北部のおもな工業都市 ・自動車…宮若・苅田・中津。造船…長崎・佐世保 ・鉄鋼…大分・北九州。ゴム…久留米 ※大分：石油化学・鉄鋼…1960年代に新産業都市に指定→日本有数の工業都市に(メガソーラーの進出)</p> <p>発展学習</p> <p>① 「自動車の町」・豊田</p> <p>(1) 企業城下町「豊田市」…かつては「拳母町」で、製糸業がさかん →トヨタ自動車が戦後、大きく業績をのばす ※企業城下町…1つの会社が都市の産業の中心</p> <p>(2) 周辺の都市の発達 豊田市：自動車→周辺の都市：自動車部品 東海市：鉄鋼</p> <p>② 「造船の街」・長崎・佐世保・呉・横須賀 世界有数の造船国・日本…戦前：海軍の軍艦製造(海軍基地：長崎・佐世保・呉・横須賀)→戦後：民間の船を製造(現在、愛媛県今治市が日本一)</p> <p>③ 「炭田の街から自動車の街へ」・宮若 宮若市…かつて筑豊炭田の街→現在、自動車生産の拠点の1つ九州地方…「カーアイランド」</p>	<p>① 工業のさかんな地域</p> <p>各産業の特徴を流れて押さえさせることが必要。 鉄鋼業・石油化学コンビナート →原料はオーストラリアや中東から輸入 →太平洋側の臨海部が有利 自動車→広い工業用地：内陸部 →輸出の際には臨海部が有利 電子部品→一度に大量のものを出荷 →飛行機やトラックを使用(船は時間がかかる) これらの流れが確認できるような形で進めたい。</p> <p>② 京浜工業地帯</p> <p>機械工業(自動車)が約50%を占めるが、出版・印刷業がさかんであることも重要。 工業生産額は長年日本一であった。→近年は中京工業地帯</p> <p>③ 中京工業地帯</p> <p>重(化学)工業：自動車(豊田)・石油化学(四日市) 軽工業：陶磁器(瀬戸)・毛織物 →様々な分野が集中していることに気づかせたい。 =工業生産額日本一の一因 石油化学コンビナートによる「四日市ぜんそく」の他、余裕があれば光化学スモッグ(8-④(2)①)等もここで教えておくことが望ましい。</p> <p>④ 阪神工業地帯</p> <p>戦前：軽工業を中心に全国一の生産 戦後：鉄鋼業(臨海地区) 繊維業(泉南地区) 電気機械工業(内陸地区) 問題点・地盤沈下や大気汚染、水不足 ・企業本社や研究所の東京移転による市場の縮小</p> <p>⑤ 九州地方北部の工業</p> <p>北九州工業地帯(地域)：八幡製鉄所(鉄鋼)を中心に発展 ・エネルギー転換(石炭→石油) ・鉄鉱石輸入先の変化(中国→オーストラリア) →地位の低下 最近では電子機器・精密機械などハイテク技術産業や自動車組み立て工場の割合が増え、製鉄所の跡地はスポーツ・レジャー施設やホテル、国際交流流通センターの建設、先端産業の誘致などの再生をはかっている。</p>

7

工業のさかんな地域

▼指導ページ P 58 ~ 67 ▼

指導のねらい ★工業のさかんな地域の特徴を確認する。
★おもな工業地域の工業都市を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 工業のさかんな地域 【基本1】</p> <p>(1) 工業地帯と工業地域 太平洋ベルト…関東地方から九州北部にかけて広がる帯状の地域 工業地帯…工業の発達した古くからの日本の工業生産の中心地 工業地域…工業地帯の発達により展開した工業のさかんな地域</p> <p>(2) 内陸部にも発達する工業地域…内陸部のメリット →広い工業用地を安く手に入れられる</p> <p>② おもな工業地域 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 京葉工業地域 千葉県のうち立て地→再開発(ウォーターフロント) 。鉄鋼…千葉, 君津 。石油化学…市原, 袖ヶ浦</p> <p>(2) 関東内陸工業地域 埼玉, 群馬, 栃木に広がる地域→高速道路や国道沿いに工業団地 以前は養蚕→現在は機械工業(組み立て型)が中心 。自動車…太田(群馬)・狭山(埼玉) 自動車部品…伊勢崎(群馬) 。機械…川越(埼玉)[化学]・宇都宮(栃木)[食品]</p> <p>(3) 東海工業地域 静岡県の海沿いを中心に→中京・京浜には含まれている 東海道新幹線と東名高速道路→交通の利便性 。製紙・パルプ…富士, 富士宮 。楽器・オートバイ…浜松</p> <p>(4) 瀬戸内工業地域 瀬戸内海沿岸→岡山, 広島, 山口, 香川, 愛媛 以前は, 塩田や軍用地中心→現在は機械, 金属, 化学工業が中心 。石油化学…倉敷(岡山), 周南(山口) 。自動車…広島, 府中町(広島), 防府(山口) 。セメント…宇部, 山陽小野田(山口) ※地場産業…今治(愛媛): タオル, 丸亀(香川): うちわ</p> <p>(5) 北海道の工業地域…農作物を中心とする→食品工業 。金属…室蘭 。製紙・パルプ, 製油…苫小牧 。食品…釧路, 根室: 水産加工, 帯広: 乳製品・製糖</p> <p>(6) 北陸地方の工業地域 中部地方の日本海側[新潟・富山・石川・福井] →伝統的工芸品の生産がさかん 。新潟: 製油・化学肥料, 燕: 洋食器, 三条: 刃物, 黒部: ファスナー, 富山: 化学せんい・製薬, 鯖江: めがねのフレーム</p> <p>(7) そのほかの工業のさかんな地域 ①鹿島臨海工業地域…大きなY字型のほりこみ港 鹿嶋市・神栖市: 製鉄所や石油化学コンビナート ②日立市…電気機器や金属製品がさかん企業城下町の1つ ③京都市…伝統的工芸品がさかん「清水焼」「西陣織」</p> <p>③ 工業地帯・地域の工業製品出荷額 【基本1, 基本2】</p> <p>(1) 工業地帯・地域の工業製品出荷額の割合 おもな工業地帯・地域の出荷額が全国にしめる割合[2013年]→1位中京工業地帯 17.9% 2位阪神工業地帯 10.3%</p> <p>(2) 工業地帯・地域の工業製品出荷額の構成 おもな工業地帯・地域の構成比の特色 。中京工業地帯…機械工業の割合が60%をこえる 。東海工業地域…機械工業の割合が50%をこえる 。京葉工業地域…化学工業の割合が他と比べ高く40%をこえる 。瀬戸内工業地域…機械工業と化学工業が同程度で30%前後 。北九州工業地帯(地域)…全国に比べ食品工業の割合が高い</p> <p>(3) 都道府県別の工業製品出荷額 愛知県・神奈川県・大阪府・静岡県・兵庫県[2013年] ※東京都…工場数は多いが, 出荷額は多くない←中小工場が多い</p> <p>発展学習</p> <p>① 「ほりこみ港のある町」</p> <p>(1) 苫小牧市(北海道)…苫小牧港(全国初のほりこみ港) (2) 鹿嶋市・神栖市(茨城) かつて「陸の孤島」→ほりこみ港の建設→鹿島臨海工業地域として発展…金属工業と化学工業がさかん</p> <p>② 「洋食器の街」・燕, 「刃物の街」・三条 燕市・三条市…新潟県中央部のとなり合う金属加工の街</p> <p>③ 「セメントの街」・山陽小野田・秩父 かつて「セメントの街」 山陽小野田市(山口)…生産中止, 隣接の宇部市で生産継続 秩父市(埼玉)…普通セメント生産中止→特殊セメントの生産</p>	<p>① 工業のさかんな地域 シリコンロード 安い工場用地と豊富な労働力, きれいな水や空気にめぐまれており, 気温が低いという点も好都合であったため, 1980年代に東北自動車道という「動脈」が開通すると, その道路沿いにICなどの電子部品の工場が多く建設された。</p> <p>② おもな工業地域</p> <p>(2) 関東内陸工業地域が発展した理由 ①交通網の整備…港がなく, 船による輸送ができないため, 道路を使ったトラックによる輸送が行われている。東京に近いこともあって高速道路や国道などが整備されている。 ②広い工業用地…関東地方の南部, とくに沿岸部が早くから発展したのに対して内陸部は製糸業などを除いて発展が遅れていた。それだけに十分な工業用地があったため, 手狭になった京浜工業地帯から広い工業用地を求めて工場が移ってきた。 ③豊富な労働力…地元の豊かな労働力を利用できることも工場の立地には重要である。</p> <p>(4) 瀬戸内工業地域が発展した理由 「海運の便の良さ」に加え, 「国の政策」を抜きに考えることはできない。「新産業都市」や「工業整備特別地域」が制定される以前は, 工業が三大都市圏(京浜, 中京, 阪神)と北九州に集中して, その他の地方との経済格差が広がっていた。そこで, 大都市と地方との間の経済発展のバランスをとるため, 上記のような工業の開発拠点, つまり地方経済の成長の拠点(全国総合開発計画における「拠点開発方式」)を設定した。瀬戸内にもいくつかの拠点が設定され, そのうち岡山県南の新産業都市は倉敷市の水島地区を中心に, 石油精製, 鉄鋼, 自動車, 繊維, 食品などの工場が立地し, 「新産業都市の優等生」と言われるほどに発展した。また, 岡山・広島両県にまたがる備後工業整備特別地域では製鉄所が立地して, それを中心に成長を遂げた。それから山口県でも周南工業整備特別地域は石油化学工業分野で成長を遂げた。このような動きは1960年代のことで, これら石油化学工業や鉄鋼業は, 他の工業で必要になる材料を供給する役割を果たし, この時期の日本の工業化や経済発展において, とても重要な工業となった。</p> <p>③ 工業地帯・地域の工業製品出荷額 東京湾をとりまく工業地帯は, 第二次世界大戦前までは東京都区部から横浜にかけての地域に限られており, 「京浜工業地帯」という名称もそこから付けられた。「京浜工業地帯」は1960年代の高度経済成長期にめざましく拡大し, 上記の地域を核として, 東京湾沿いは千葉県の君津市や神奈川県横須賀市付近まで, 内陸部は埼玉県の川口市・大宮市(当時)付近まで広がった。工業の特色としては, 東京都中心部では印刷・出版をはじめ, 雑貨・衣類・機械などさまざまな業種の中小工場が多く分布しているのに対し, 市原・君津や川崎・横浜などの沿岸部では石油化学工業をはじめとする重化学工業が, 内陸部では機械工業が発達するなど, 地域によって異なる。しかし, 工業分布の連続性や, 上記のような工業地域の発達過程をみると, これらの地域を連続した一つの地域として捉える方が適切と考える。そのため地図帳・教科書では, 京浜工業地帯の工業出荷額などの統計データは, 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の1都3県の数値を合計して算出している。一方で, 京浜工業地帯を東京都・神奈川県だけとみなす区分もみられるが, もともと「工業地帯」の範囲には公式に定められたものがないため, どれが正しくどれが誤りというわけではない。しかしながら, さまざまな区分がみられる実態をふまえ, 地図帳・教科書では, 京浜工業地帯に続けて京葉工業地域(千葉県)の工業出荷額を分けて示すなどの配慮をしている。なお, 地図帳・教科書で用いている工業地帯・工業地域の分け方は下記の通りとなる。</p> <p>京浜工業地帯 = 東京都 + 神奈川県 京葉工業地域 = 千葉県 阪神工業地帯 = 大阪府 + 兵庫県 + 和歌山県 中京工業地帯 = 愛知県 + 岐阜県 + 三重県 北九州工業地帯 = 福岡県 瀬戸内工業地域 = 山口県 + 広島県 + 岡山県 + 愛媛県 + 香川県 東海工業地域 = 静岡県 北陸工業地域 = 新潟県 + 富山県 + 石川県 + 福井県 関東内陸工業地域 = 埼玉県 + 栃木県 + 群馬県</p>

指導のねらい ★日本の工業の特色とこれからの工業を確認する。
★工業による課題(公害と環境問題)を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など															
<p>① 日本の工業の特色 【基本1】</p> <p>(1) 加工貿易 資源に恵まれない→原料を輸入, 製品を輸出</p> <p>(2) 増える海外での生産=うすれる加工貿易 現地生産方式と逆輸入 ・海外に工場を移転, 製品も輸入 ・アジアの新興工業国の増加 理由: 貿易摩擦・コスト・円高</p> <p>(3) 産業の空洞化…国内産業のおとろえ ※近年, 国内回帰の動き←中国などの人件費上昇</p> <p>② 日本の産業を支える中小工場 【基本1】</p> <p>(1) 多い中小工場…日本の工場の約99%以上 中小工場の生産額 全工場の約50% →工場1つあたりの生産額は非常に少ない 中小工場…親工場の景気の影響を受けやすく経営不安定, 工業団地等の工夫: 技術力の高さが海外から注目</p> <p>(2) 中小工場の課題…大企業の下請け工場→大企業の業績の影響を受けやすい・後継者不足</p> <p>③ これからの工業 【基本1, 2】</p> <p>(1) 高い技術をいかして 産業用ロボット→生産台数も使用台数も世界一 →介護ロボット・盲導犬ロボットなどの開発</p> <p>(2) 環境とともに歩む工業</p> <p>①リサイクル社会をめざして かぎられた資源を確保→リサイクル (例)ペットボトル→衣類・文具 ビニール→燃料</p> <p>②地球にやさしい製品の開発 ・地球にやさしい工業製品(自動車工業) 排気ガス: CO₂(温暖化)・有害物質(大気汚染) →温室効果ガスを出さない(減らす)製品の開発 ハイブリッドカー: ガソリンの節約・排気ガス1/2 電気自動車: バッテリー(蓄電池)にためた電気で走る 燃料電池自動車: 水素+空気中の酸素→電気・水 バイオ(マス)エタノール さとうきび・とうもろこしなど植物を利用した燃料</p> <p>・地球にやさしい生産方式 部品のリサイクル…部品などを繰り返し使う 工場の動力=太陽光</p> <p>④ 公害と環境問題 【基本2】</p> <p>(1) 工業の発達と公害 戦後の重化学工業化→環境悪化: 空気や水のごれ(公害)</p> <p>(2) 公害の種類</p> <p>①大気汚染…光化学スモッグ・四日市ぜんそく ②騒音・振動…空港(基地)・高速道路・新幹線 →海上へ(関西国際空港・中部国際空港)</p> <p>③悪臭…アオコ(琵琶湖・諏訪湖)・ヘドロ(富士)</p> <p>④水質汚濁…赤潮(瀬戸内海)</p> <p>⑤土壌汚染…足尾銅山鉱毒事件(渡良瀬川流域・栃木) →日本初の公害事件(田中正造)</p> <p>⑥地盤沈下(地下水の汲み上げすぎ)</p> <p>(3) 四大公害病</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①水俣病(熊本・八代海沿岸)-水質汚濁: 有機水銀 ②イタイイタイ病(富山・神通川流域)-水質汚濁: カドミウム ③四日市ぜんそく(三重・四日市市)-大気汚染: 二酸化硫黄 第二(新潟)水俣病(新潟・阿賀野川流域)-水質汚濁: 有機水銀</p> </div> <p>発展学習</p> <p>① 世界が目にする日本の「技術力」</p> <p>(1) 香川県三木町の「アクリルパネル」 水族館の水そうの大型化…アクリルガラス←高い技術</p> <p>(2) 宇宙とつながる「下町の工場」 東京都大田区の町工場…熟練の技術→ロケットやレーザー機器</p> <p>② 公害を防ぐための努力</p> <p>(1) 環境基本法→環境省によるいろいろな政策実施 ・各都道府県・市町村→条例による政策</p> <p>(2) 地球にやさしい生活→一人一人が注意する</p>	<p>① 日本の工業の特色</p> <p>(1) 加工貿易 最近の流れをつかむ 最近では, 用地が広く物価(土地のねだん)や人件費が安い海外に工場を移転, その製品を輸入するため, また, 韓国をはじめシンガポールやマレーシアなどアジアの各国も工業化が進み, 工業製品の輸入の割合が増えているなどの理由から, 日本の加工貿易の特色はうすれ, 工業製品でも各国との競合がはげしくなり, 国際的に産業の分業化が進んで, 日本の場合ハイテクを活かし得意分野での高品質(付加価値)な製品に重点をおいている。</p> <p>円高の影響 円高による輸出の不利⇔円安→輸入に不利</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">日本</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 40%;">アメリカ</td> </tr> <tr> <td>120円</td> <td>=</td> <td>1ドル</td> </tr> <tr> <td>120万円の車</td> <td>=</td> <td>10,000ドル</td> </tr> </table> <p>↓1ドル120円→100円の円高</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">100円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 40%;">1ドル</td> </tr> <tr> <td>120万円の車</td> <td>=</td> <td>12,000ドル</td> </tr> </table> <p>→20ドル高くなるのでその分不利(売れない)</p> <p>(3) 現地生産方式・産業の空洞化に関しては関連づけて説明するようになりたい。現地生産にする理由(人件費・貿易摩擦)もきちんと説明しておこう。</p> <p>② 日本の産業を支える中小工場</p> <p>(1) 多い中小工場 日本工業を支える中小工場の役割を確認する。(軽工業・関連工場)</p> <p>③ これからの工業 これまでの工業の問題点をおさえることでこれからの工業に対するとりくみなどの姿勢が浮き上がってくる。 公害・産業廃棄物→地球環境問題→環境にやさしい工業 高い人件費・危険な工程→産業用ロボット 製品の画一化→差別化: 人にやさしい製品 など *燃料電池自動車 大量の水素を特殊な物質に吸収させて小さな体積に圧縮貯蔵した装置を自動車に積み込んで, 水素を必要なだけとりだし空気中の酸素と反応させて発電しモーターで車を動かす。このときできるのは水だけなので排気ガスはゼロ。電気モーターの音はガソリンエンジンよりも静かである。(問題点: 特殊な装置の費用や製品の値段が高価, 水素ステーションの普及など)</p> <p>④ 公害と環境問題</p> <p>(2) 公害の種類 主な公害にはどのようなものがあるのかまとめる。</p> <p>(3) 四大公害病 四大公害病については, その病名のみでなく原因となる物質およびその発症地域まで覚えられるようにする。</p> <p>発展学習</p> <p>② 公害を防ぐための努力 環境省(庁)・環境基本法・環境アセスメント等には触れておきたい。また世界的な環境保護の取り組みとして, 国連人間環境会議(1972)・国連環境開発会議「地球サミット」(1992)が開かれたこと, 1997年に地球温暖化防止京都会議があり, そこで作られた京都議定書が作られたが, 当時最大の二酸化炭素排出国アメリカが離脱し十分に機能していないことや, 新たに急激に経済成長し, 現在最大の二酸化炭素排出国の中国に削減義務が課されていないため, アメリカや中国も含めた新しい枠組みが作られたことについても触れておきたい。 京都議定書の目標値達成のために, 排出量取引(二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を売買)も行われている。 *環境アセスメント 工業開発や都市計画など大規模な開発事業の実施に際し, その事業が環境に及ぼす影響を事前に調査・評価することをいう。</p>	日本		アメリカ	120円	=	1ドル	120万円の車	=	10,000ドル	100円		1ドル	120万円の車	=	12,000ドル
日本		アメリカ														
120円	=	1ドル														
120万円の車	=	10,000ドル														
100円		1ドル														
120万円の車	=	12,000ドル														



日本の貿易

▼指導ページ P 78 ~ 87 ▼

指導のねらい ★日本の貿易の特徴と貿易相手国を確認する。
★日本のおもな輸出入品と貿易港を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 日本の貿易 【基本1】</p> <p>(1) 貿易立国・日本</p> <ul style="list-style-type: none"> 原料の輸入→国内加工→製品輸出(加工貿易) 戦前 せんいの加工貿易中心 戦後 重化学工業中心の加工貿易 ※近年、製品輸入増加=加工貿易うすれる <p>(2) 日本の貿易相手国</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年では、輸出入ともにアジア(中国・韓国など)が中心 特に中国がアメリカにかわり貿易相手国1位になった <p>おもな国別の輸出相手国(金額順)と輸出品</p> <ol style="list-style-type: none"> ①アメリカ…自動車, 自動車部品, 内燃機関 ②中国…科学光学機器, 有機化合物 ③韓国…鉄鋼, 有機化合物 <p>おもな国別の輸入相手国(金額順)と輸入品</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国…衣類, 通信機, コンピュータ ②アメリカ…航空機類, 科学光学機器 ③オーストラリア…液化天然ガス, 石炭, 鉄鉱石 ④サウジアラビア…原油, 石油製品 <p>(3) 貿易黒字の国・貿易赤字の国</p> <p>対アメリカ→貿易黒字(約6兆円)(2013年)</p> <p>※戦後、日米貿易摩擦→牛肉・オレンジ自由化</p> <p>対中国→貿易赤字(約5兆円)(2013年)</p> <p>② 日本のおもな輸出入品 【基本1】</p> <p>(1) 日本の輸出品</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械製品が中心 アメリカ→自動車・自動車部品, パナマ→船舶, 中国→鉄鋼 <p>(2) 日本の輸入品</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料品→アメリカ, 中国 資源→石炭・鉄鉱石: オーストラリア, 原油: 中東諸国 工業製品→衣類: 中国(安価), イタリア(高級品), 自動車→ドイツ <p>③ 貿易港と近年の貿易 【基本2】</p> <p>(1) 日本の貿易港</p> <ol style="list-style-type: none"> ①成田国際空港②東京港③名古屋港④横浜港⑤神戸港 <p>(2) おもな貿易港の特色</p> <ol style="list-style-type: none"> ①成田国際空港: 航空機を使用→精密機械・集積回路が多い 最近: 高級食材・貴金属も 関西国際空港・中部国際空港も同じ特徴 ②大阪港・東京港: 多くの消費者→日用品・肉類・魚類 ③名古屋港・横浜港: 自動車をおもに輸出 ④神戸港: 衣類・たばこの輸入 コンテナ専用の船着き場を持つポートアイランド ⑤清水港: 浜松→二輪自動車 <p>(3) 近年の貿易…製品輸入の増加</p> <p>日本の工場が外国へ→現地生産 ※逆輸入</p> <p>アジアの国々の工業化</p> <p>発展学習</p> <p>① 世界のおもな国々の貿易</p> <p>(1) 中国の貿易…輸出入総額世界一</p> <p>輸出品の特色: 衣類・鉄鋼が中心</p> <p>(2) アメリカ合衆国の貿易</p> <p>輸出入ともに自動車上位</p> <p>② 力をつける「新しい工業国」</p> <p>外国製の安い工業製品が輸入されている。</p> <p>※新興工業経済地域(NIES)(韓国・台湾・香港等)</p> <p>※BRICS…ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国</p>	<p>円高・円安</p> <p>円安→円の価値が安い→同じものを買うのに多くのお金(円)が必要</p> <p>日本への輸入品: 高い→輸入不利</p> <p>→ドルの価値は高い→同じものを買うのに少しのお金(ドル)でよい</p> <p>日本からの輸出品: 安い→売れる→輸出有利</p> <p>円高→円の価値が高い→同じものを買うのに少しのお金でよい</p> <p>日本への輸入品: 安い→輸入有利</p> <p>→ドルの価値は低い→同じものを買うのに多くのお金(ドル)が必要</p> <p>日本からの輸出品: 高い→輸出不利</p> <p>① 日本の貿易</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工貿易の形態をとるわが国では何を生産するかによって輸出入の品目が大きく変わること注目させたい。輸出品(製品)が変わるのはあきらかであるが、その原料が異なれば輸入品が当然変化するのである。 <p>② 日本のおもな輸出入品</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な輸入先の輸入品, 地域別の輸入品はおさえておきたい。 アメリカ・中国・韓国・オーストラリアは必須であるが, ASEAN加盟国をはじめとした他のアジアや中東地域も視野に入れておきたい。 どの国がどんなものを輸出しているかは, その国の産業と関連づけて説明したい。その国の具体的状況を想像することで表を使った問題にも対応しやすくなる。 <p>③ 貿易港と近年の貿易</p> <p>(1) 日本の貿易港</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易港といったときに空港を忘れないようにしたい。 トップ5くらいは覚えさせておいた方がよいだろう。 <p>(2) 主な貿易港の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の特色と関連づけることが重要。 特に工業と関連する分野は第6回～第8回までの確認を兼ねて進めていきたい。 <p>(3) 近年の貿易</p> <ul style="list-style-type: none"> 新興経済地域の発展や貿易摩擦の問題と関係づけることを意識したい。日本の産業全体が関わる問題である。 <p>発展学習</p> <p>① 世界のおもな国々の貿易</p> <p>生産量と輸入先…必ずしも生産量の多い国から輸入されるわけではない(相手国の状況)</p>

指導のねらい ★第6回～第9回までの重要事項を再確認し、徹底する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 第6回・第7回・第8回の復習</p> <p>(1) A 関東内陸…「かつて養蚕」「生糸・絹織物」 B 阪神…「中小工場」 C 瀬戸内…「塩田・軍用地」 D 北九州…「八幡製鉄所」 E 鹿島臨海…「Y字型のほりこみ港」 F 京葉…「金属・化学」「化学は日本有数」 G 京浜…「印刷工業」 H 東海…「製紙・パルプ」「オートバイ」 I 中京…「自動車・陶磁器」</p> <p>(3) コンビナート…技術的に関連した生産過程をそれぞれ分担しているいくつかの工場と企業が、地域的にも隣接している生産複合体のこと。</p> <p>(4) ア…「機械50%弱」「印刷業」→京浜 イ…「機械65%強」→中京 ウ…「金属・化学20%」→阪神 エ…「化学30%弱」「構成比が全国2位の高さ」→瀬戸内 オ…「食料品20%弱」「構成比が全国1位の高さ」→北九州 カ…「機械45%」「構成比が全国3位の高さ」→関東内陸 キ…「機械50%強」「構成比が全国2位の高さ」→東海 ク…「化学40%強」「構成比が全国1位の高さ」→京葉</p> <p>② 第8回の復習</p> <p>(1) 資源に恵まれない→原料を輸入，製品を輸出 (2) 海外に工場を移転，製品も輸入 理由：貿易摩擦・コスト・円高 (4) 外国への工場移転→国内工業のおとろえ (5) 多い中小工場…日本の工場の約99%以上 中小工場の生産額 全工場の約50% →工場1つあたりの生産額は非常に少ない 中小工場…軽工業・自動車の関連工場 →親工場の景気の影響を受けやすく経営不安定 →工業団地等の工夫 技術力の高さが海外から注目 (6) 自動車の排気ガスと燃料問題 →・ハイブリッドカー ・燃料電池自動車 ・電気自動車</p> <p>③ 第9回の復習</p> <p>(2) ①ドイツ…自動車・医薬品 ②サウジアラビア…原油 ③中国…衣類・野菜・魚介類・コンピュータ ④オーストラリア…石炭・鉄鉱石・肉類・小麦 ⑤カナダ…木材・小麦・大豆 ⑥アメリカ合衆国…小麦・大豆・とうもろこし・肉類 ⑦ブラジル…鉄鉱石・大豆・コーヒー豆</p> <p>(3) 日本が貿易黒字→輸入拡大や貿易規制を要求 対応：①現地生産 ②輸出の自主規制 ③要求の受け入れ</p> <p>(5) A→集積回路から飛行機での輸送 B→自動車から愛知県での港</p>	<p>① 第6回・第7回・第8回の復習</p> <p>日本の工業 それぞれがどのようなものを生産しているかのイメージが必要になってくる。 →それを作るには何が必要か？ →その原料(材料)を得るためにはどこが便利か？ このような思考の流れを持たせながら考えさせることで、記憶の定着や、解答までの判断力がにぶらないようになる。 また、地図上の場所を答えさせる問題に対しての訓練として白地図を用いてしっかり場所を確認させておくこと。 地域の特徴をつかませることで、産業全体(工業や農業、漁業など)の国内でのバランスをつかませるとよい。 ・各地帯・地域の主要工業と主要都市は必ずおさえること。 ・その分野が主要になる理由などをおさえておくこと。 ・三大工業地帯と隣接する地域も多く問題に問われるので生徒が混乱しないよう、白地図を用いて色分けなどの工夫をしておくことよい。 また、同じものが違う地域で生産されている場合は、生産額の違いを指導すること。</p> <p>② 第8回の復習</p> <p>(1) 最近では、用地が広く物価や地価、人件費が安い海外に工場を移転，その製品を輸入するため，また，韓国をはじめシンガポールやマレーシアなどアジアの各国も工業化が進み，工業製品の輸入の割合が増えているなどの理由から，日本の加工貿易の特色はうすれ，工業製品でも各国との競合がはげしくなり，国際的に産業の分業化が進んで，日本の場合ハイテクを活かし得意分野での高品質(付加価値)な製品に重点をおいている。</p> <p>(2) 現地生産方式・産業の空洞化に関しては関連づけて説明するようになりたい。現地生産にする理由(人件費・貿易摩擦)もきちんと説明しておこう。</p> <p>(5) 多い中小工場 日本工業を支える中小工場の役割を確認する。(軽工業・関連工場)</p> <p>③ 第9回の復習</p> <p>(2) どの国がどんなものを輸出しているかは，その国の産業と関連づけて説明したい。その国の具体的状況を想像することで表を使った問題にも対応しやすくなる。</p> <p>(3) 1980年代になりアメリカとの間で貿易摩擦が発生，日本はオレンジ・牛肉の輸入自由化などを実施した。</p> <p>(4) バイオ(マス)エタノール→最近特に受験ではよくみられる。サトウキビやとうもろこしなどを発酵させて得られるエタノールのこと。石油や天然ガスから合成されるエタノールを合成エタノールと呼ぶが，この反意語としては発酵エタノールなので混同させないように。利点 とにかく環境により，地球温暖化防止の目的として考えられている。もともと植物由来のエタノールなので二酸化炭素の排出合算に植物状態で存在していた場合との総量には変化が無いとされている。ただし，生産過程での化石燃料利用に関してはないものとされている。 欠点 利点を見ると欠点がないように感じるが，主要食料のとうもろこしなどを代替燃料とすることへの反発，穀物価格の上昇，とうもろこしなどを増産するために農地を拡大したことによる環境破壊や二酸化炭素排出量の増加など，さまざまな問題がおこっている。</p>

指導のねらい ★日本の国土と位置上の特徴について確認する。
★日本の人口傾向と地形図のきまりを学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 日本の国土 【基本1】</p> <p>(1) 島国, 日本 ユーラシア大陸の東に位置, 大小約 7000 個の島からなる北東～南西約 3000km につらなる島国</p> <p>(2) 日本のまわりの海・海流 オホーツク海・日本海・太平洋・東シナ海 暖流…日本海流(黒潮)・対馬海流 寒流…千島海流(親潮)・リマン海流</p> <p>(3) 日本の端の島 北端: 択捉島(北海道), 南端: 沖ノ島(東京) 東端: 南鳥島(東京), 西端: 与那国島(沖縄) 日本と外国の領土問題となっている島 北方領土[択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島](北海道) ×ロシア, 竹島(島根)×韓国, 尖閣諸島(沖縄)×中国など</p> <p>(4) 日本のまわりの国 ①ロシア連邦 ②中華人民共和国 ③朝鮮民主主義人民共和国 ④大韓民国</p> <p>(5) 経度と緯度から見た日本 緯度 赤道を 0 度 南北を 90 度ずつ 経度 イギリスのロンドンを 0 度(本初子午線) 東西を 180 度ずつにわける。 日本の時刻を決める線 日本標準時子午線 = 東経 135 度…兵庫県明石市</p> <p>② 日本の面積・人口</p> <p>(1) 日本の面積・人口 日本の国土面積 = 約 38 万 km²(北方領土をふくむ・世界順位およそ 60 番目) 日本の総人口 = 約 1 億 2700 万人(世界 194 か国中 10 番目)(2014 年現在) 人口の調査…国勢調査(5 年に 1 度, 総務省が行う)</p> <p>(2) 都市に集中する人口 3 大都市周辺に人口の約 45% が集中 仕事・進学, ぐらしやすさのために地方から移住 過密→ドーナツ化現象 ・都心回帰 過疎→限界集落</p> <p>(3) 年齢別の人口 少子高齢社会…高齢者の割合が子どもの割合をこえる 年少人口(0 歳～ 14 歳) 12.8% 生産年齢人口(15 歳～ 64 歳) 61.3% 高齢者人口(65 歳～) 26.0% 合計特殊出生率…1.42 人(2014 年)</p> <p>③ 地形図のよみとり 【基本2】</p> <p>(1) 地形図とは 実際の地形を平面にあらわしたもの 国土交通省の国土地理院(茨城県つくば市)が作成</p> <p>(2) 地形図のきまり</p> <p>①方位…四方位・八方位 方位記号が記されていない場合→ふつう地図の上が北の方位</p> <p>②等高線…等しい高さを結んだ線 等高線の間かくがせまいところ→急なしゃ面 等高線の間かくが広いところ→ゆるやかなしゃ面</p> <p>③縮尺…実際のきよりをちぢめた割合 (例) 縮尺 25000 分の 1 の地図上の長さ 4cm の場合→実際のきよりは 1km</p> <p>④等高線と縮尺…縮尺 25000 分の 1 の地形図→等高線は高低差 10 m おきに引かれる 縮尺 50000 分の 1 の地形図→等高線は高低差 20m おきに引かれる</p> <p>⑤地図記号…建物や土地利用のようすを図案化したもの</p> <p>発展学習</p> <p>② 人口のとらえ方</p> <p>(1) 産業別の人口 第 1 次産業…農林水産業(割合がかなり減る) 第 2 次産業…鉱工業・建設業(割合がやや減る) 第 3 次産業…商業・サービス業(割合がふえる)</p> <p>(2) 人口密度 約 341 人/km²</p>	<p>① 日本の国土</p> <p>(2) 日本のまわりの海・海流 4 つの海と海流についてはその名称だけでなくその位置も確認しておく。日本海流 = 黒潮, 千島海流 = 親潮といういいかえにも戸惑わないようにしたい。</p> <p>(3) 日本の端の島 日本と外国の領土問題となっている島 日本の海の面積 領海と経済水域についてはきちんと定義しておきたい。領海は日本の領土である(領海内は日本)。経済水域は沿岸国が排他的に管理することができる水域である(つまり経済水域内は日本の領土ではないが, その水域内では他の国に対し, 地下資源や水産資源を主張できる)。この経済水域を守るために沖ノ島は水没を防ぐ工事などがされている。 日本の領土 それぞれの国が島の所有を主張するのは経済水域が絡んでくるからである。その地域の水産・地下資源保護が主な目的である。</p> <p>(4) 日本のまわりの国 これらの国々に関しては漢字で正確に書けるようにしておきたい。</p> <p>(5) 経度と緯度から見た日本 緯度と経度の区別が付けられない子も多い。まず緯度と経度をきちんと分けて理解できるようにしたい。 日本の時刻を決める線 日本は東西に長い島国であることを認識させるために列島を図示したい。2 時間ほどの時差が生じることを伝えると効果的である。</p> <p>② 日本の面積・人口</p> <p>(1) 日本の面積・人口 日本の総面積が世界で 60 番目であったことと比較したい。人口密度の高さがわかる。また総面積の他, 生活できる土地が限られていることも加えておきたい(山が多い)。</p> <p>(2) 都市に集中する人口 人口の約 45% が集中する 3 大都市は覚えておこう。そのまわりの工業地帯や近郊農業も確認するとより実感できるのではないだろうか。過疎・過密の問題点も取り上げておこう。 ドーナツ化現象や都心回帰は, グラフから読み取らせることが多い。</p> <p>(3) 年齢別の人口 人口ピラミッド グラフから読みとる練習をしたい。グラフから何が読み取れるのかを考える上で, 人口ピラミッドはいい題材である。 進む少子高齢化 高齢者を支える人口が不足するというに関し具体的なイメージを持つことが必要であろう。 →・労働者が減少するので税金も今のままでは不足することになる。 ・年金も不足(税金と同じ理由)</p> <p>発展学習</p> <p>② 人口のとらえ方</p> <p>(1) 産業別の人口 第 1 次産業・第 2 次産業・第 3 次産業がそれぞれどのような産業を指すのか整理したい。その上でこれまでに学習した産業の中で, 高齢化・後継ぎ不足が問題となった箇所を思い出させるようにしたい。</p>

指導のねらい ★九州地方の自然と位置上の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 九州地方の位置・自然 【基本1】</p> <p>(1) 九州地方の位置 ・日本の西にある地方, 沖縄を含める ・人口 約 1450 万人 ・面積 約 44500km²</p> <p>(2) 九州地方の自然</p> <p>①九州地方の山地・山 ・北部→筑紫山地 ・中央部→九州山地 ・阿蘇山→カルデラ ・屋久島→宮之浦岳</p> <p>②九州地方の川・平野・盆地 ・筑紫次郎→筑後川(クリーク) ・球磨川→三大急流</p> <p>(3) 九州地方の気候 ・北部→日本海側の気候 ・南部→太平洋側の気候 ・沖縄(南西諸島)→亜熱帯性の気候</p> <p>(4) 九州地方の美しい自然・名所</p> <p>①屋久島(世界遺産)→種子島(宇宙船センター) ②琉球王国のグスクおよび関連遺産群(世界遺産)→首里城, 守礼門 ③九州地方の火山 ・火山が多い→温泉 ・大分→地熱発電所 ④歴史ある町, 長崎 ・外国との貿易→洋館や教会 ・原爆→8月9日(平和公園) ・造船の街→世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」</p> <p>② 九州地方の農林水産業 【基本1】</p> <p>(1) 九州地方の農業</p> <p>①宮崎平野の農業…日本海流(黒潮)のえいきょう ビニールハウス ピーマンの生産</p> <p>②沖縄の農業 パイナップルやさとうきび→近年は野菜・草花(菊)</p> <p>③シラス台地の農業 火山灰→水もちが悪い…さつまいも, 茶など 鹿児島県 ぶた, 肉牛・ブロイラー</p> <p>④そのほかの地域の農業 ・有明海沿岸→干拓(稲作) ・福岡→いちご・熊本→い草(たたみ)・長崎→びわ</p> <p>(2) 九州地方の水産業 ・東シナ海(大陸だな)→トロール漁業 ・枕崎漁業→遠洋漁業(かつおぶし加工) ・有明海→のり養殖 ・大村湾(長崎)→真珠養殖</p> <p>③ 九州地方の工業・産業 【基本2】</p> <p>(1) 北九州工業地帯[地域]の発達 昔, 八幡製鉄所が中心だったが, 現在地位低下</p> <p>(2) 現在の北九州工業地帯[地域] 昔「鉄鋼業」→現在「機械工業」(出荷額にしめる食料品工業の割合が全国的にも非常に高い)</p> <p>(3) 九州各地の工業 シリコンアイランド: IC[集積回路]など 製品の空輸のため, 工場は空港周辺に 開発のすすむ大分市: 鶴崎地区 →製鉄・石油化学コンビナート(臨海部埋め立て) 長崎・佐世保→造船業 北部に自動車の組み立て工場→カーアイランド</p> <p>(4) 九州地方の伝統的工芸品の例</p> <p>①福岡…博多織・久留米すがり ②佐賀…伊万里焼・有田焼・唐津焼 ③鹿児島…本場大島紬(奄美大島) ④沖縄…琉球びんがた</p> <p>(5) 九州地方の交通 東海道・山陽新幹線→東京ー博多(約5時間) 九州新幹線(博多ー鹿児島中央)→つばめ</p>	<p>① 九州地方の位置・自然</p> <p>旧国名と今の都道府県がどのように対応しているのかは簡単におさえておこう。</p> <p>筑前・筑後・豊前(福岡・大分)・豊後(大分)・肥前(佐賀・長崎)・肥後(熊本)・日向(宮崎)・大隅・薩摩(鹿児島)</p> <p>沖縄は17世紀の初めまでは, 日本とは別の独立国(琉球王国)だった事にも触れておきたい。</p> <p>・おもな山地・河川は必修事項である。 平野については②の農業とリンクして覚えさせるようにしたい。 筑紫平野(米どころ) 八代平野(い草) 宮崎平野(促成栽培) 筑紫平野については次のような流れでおさえたい。 筑紫平野→筑後川→水郷地帯→米どころ→クリーク カルデラ…噴火口は2km以下だが, カルデラは2km以上, 20kmをこえるものもある。阿蘇のカルデラは, 世界一の大きさで, 東西約18km, 南北約24kmもある。カルデラの底から噴出した中央火口丘が5つあり, そのうち中岳は活動中。</p> <p>・北九州・南九州・南西諸島の区別ができるようにしたい。 世界遺産条約 1972年, ユネスコ[国連教育科学文化機関]総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」。日本は1992年に批准。</p> <p>② 九州地方の農林水産業</p> <p>各地の特色はおさえておくようにしたい。 筑紫平野: 米どころ(クリーク) 有明海: 干拓→諫早湾の干拓が作物に影響か。 八代平野: い草 宮崎平野: 促成栽培←温暖な気候 鹿児島: シラス台地→畑作・畜産(米作には向かない) 長崎: トロール漁基地・リアス式海岸→真珠の養殖 沖縄: サトウキビ・パイナップル→野菜 筑紫平野のクリーク…「堀」「運河」という意味。低湿地の耕地の周囲にもうけた排水とかんがい用の人口の水路。水路の統廃合や宅地化で減っている。 シラス(台地)…(地名)軽石をふくんだ白っぽい砂のような土でできている。水もちが悪いため, 渴きやすく, 畑地として利用される。そのうえ雨が降ると水を含み, もろいので, がけくずれなどの災害が起こりやすい。</p> <p>③ 九州地方の工業・産業</p> <p>・シリコンアイランド 九州各地(高速道路や空港の周辺)にはICの工場が進出し, 全国の約4分の1近くをしめ, ICの生産基地となっている。IC産業が九州に進出・発展したのはIC生産工程で必要な豊富な水と良質の労働力を得やすく, 製品・資材の搬出入に便利な空港に近接した広い土地があったから。(ICなどの電子部品は, 軽量で小さなわりに, ねだんが高いため, 運賃の比較的高い航空機で輸送しても十分に採算がとれる。そのために空港の近くや高速道路のインターチェンジ付近にIC工場が建設されている。)</p> <p>発展学習</p> <p>① 屋久島と種子島</p> <p>屋久島…九州最高峰「宮之浦岳(標高1936m)」, 「縄文すぎ」(樹齢2500～3000年)島の大部分が森林, 山が多いため雨が多い。 種子島…ロケットの打ち上げ(種子島宇宙センター[宇宙航空研究開発機構(JAXA)]) 平地が多いため, 屋久島に比べ, 雨が少ない。</p> <p>① 屋久島と種子島</p> <p>人口約147万人, かつては大陸への日本の玄関口→現在アジアの国々と積極的に交流→福岡空港: アジア各地を結ぶ多くの航空路線開設</p> <p>③ 九州地方の各県のすがた</p> <p>・福岡県→福岡市(政令指定都市) ・佐賀県→佐賀市 ・長崎県→長崎市 ・大分県→大分市 ・熊本県→熊本市(政令指定都市) ・宮崎県→宮崎市 ・鹿児島県→鹿児島市 ・沖縄県→那覇市</p>

指導のねらい ★中国・四国地方の自然と位置上的特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産、工業、交通を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 中国・四国地方の位置・自然 【基本1】</p> <p>(1) 中国・四国地方の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本州の西にある地方(中国) ・日本でもっとも小さい地方(四国) ・人口 約 740 万人 ・面積 約 31900km²(中国地方) ・人口 約 390 万人 ・面積 約 18800km²(四国地方) ・中国地方と四国地方の間→瀬戸内海 <p>(2) 中国・四国地方の自然 (3) 中国・四国地方の気候・災害</p> <p>①中国・四国地方の山地・山脈…2つの山地で3区分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>山陰：冬は北西の季節風と対馬海流…雪が多い 中国山地…なだらかな 山陽 瀬戸大橋 瀬戸：季節風をさえぎる山地、雨が少ない 北四国 四国山地…険しく高い 南四国：日本海流[親潮]…温暖な気候 季節風や梅雨・台風…夏に雨が多い</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・おもな山地・山 山…大山(伯耆富士)・石鎚山(西日本で最高) <p>②中国・四国地方の川・平野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもな河川 高梁川の河口(石油化学コンビナート) 太田川の三角州に広島平野(広島市)、 吉野川(香川用水、大歩危・小歩危、四国三郎) 四万十川(四国で最長、日本最後の清流) <p>(4) 中国・四国地方の気候・災害</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本海側(山陰地方)の気候…冬の北西の季節風の影響 ②瀬戸内海沿岸(瀬戸内地方)の気候…干害 ③太平洋側の気候…夏の南東の季節風の影響 <p>(4) 中国・四国地方の美しい自然・名所</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鳥取砂丘…日本最大級の砂丘 山陰海岸国立公園 千代川 ②秋吉台…石灰岩の台地 しょう乳洞 カルスト地形 ③中国地方の世界文化遺産 <p>原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡とその文化的景観、明治日本の産業革命遺産</p> <p>② 中国・四国地方の農水産業 【基本1】</p> <p>(1) 各地の農業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鳥取平野の農業 鳥取砂丘(スプリンクラーでかんがい) らっきょう・長いも・すいか 丘陵部…日本なし(二十世紀なし) ②讃岐平野の農業 干害をふせぐ→ため池利用 現在は吉野川から香川用水 ③高知平野の農業 日本海流の影響=暖かい気候(ビニールハウス栽培) →なす、ピーマンなど春野菜(促成栽培) ④瀬戸内地方の果樹栽培 ・だんだん畑の利用(愛媛県海沿い)→みかん、キウイフルーツ ・岡山→マスカット・小豆島→オリーブ栽培の成功 <p>(2) 水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアス(式)海岸→真珠の養殖 ・広島湾→かきの養殖 ・宍道湖(島根県)→しじみ ・瀬戸内海の汚れ→赤潮の発生 <p>③ 中国・四国地方の工業・産業 【基本2】</p> <p>(1) 瀬戸内工業地域</p> <p>広島県中心に瀬戸内海に面する県→塩田や軍用地の跡地利用</p> <p>(2) 伝統的工芸品・地場産業</p> <p>広島→熊野筆 高知→土佐和紙 岡山→備前焼 山口→萩焼</p> <p>地場産業=今治(タオル)、丸亀(うちわ)、倉敷(ジーンズ)</p> <p>(3) 中国・四国地方の交通</p> <p>本州四国連絡橋(3つのルート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸大橋(岡山～香川)→ 児島・坂出ルート ・明石海峡大橋・大鳴門橋(兵庫～徳島)→神戸・鳴門ルート ・瀬戸内しまなみ海道(広島～愛媛)→尾道・今治ルート 山陽新幹線→新大阪(大阪府)～博多(福岡県) 	<p>① 中国・四国地方の位置・自然</p> <p>中国・四国地方の地形等に関しては中国山地・四国山地を挟むことで気候等が大きく異なる。どの地域がどのような気候の特色を持っているのか。その点をきちんとおさえておきたい。余裕があればそのような気候になるのかを山地との関係でわかるようにしておきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもな地形 中国・四国地方は河川や平野(砂丘)に有名なものが多い。常識としておさえるべきものは早めに覚えられるようにしたい。 ・中国・四国地方の国立公園・名所 これも常識として覚えておいた方がよいものが多い。世界的な名所でもあることに留意した説明をしたい。 ・秋吉台 鍾乳洞は、雨水が台地の表面を溶かし、割れ目からしみ込んで地下の石灰岩層に洞窟を造ったもので秋吉洞は長さ 10km もある。 ・原爆ドームと世界遺産 爆心地の中心にある原爆ドームは、世界の恒久平和の大切さを伝えるシンボルとして 1996 年に世界遺産として登録された。 ・中国地方の世界文化遺産 ○原爆ドーム…戦争の悲惨さを伝える「負」の遺産 ○厳島神社…日本三景「安芸の宮島」、地球温暖化→水没の危機 ○石見銀山遺跡とその文化的景観…かつて日本最大の銀の産地(世界の銀の約 3 分の 1) ○明治日本の産業革命遺産…萩反射炉・松下村塾など(山口県萩市で 5 か所登録) <p>② 中国・四国地方の農水産業</p> <p>それぞれの地方の特徴によって農業も大きく異なる。そのような農水産業が発達した理由とあわせて説明することが肝要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰地方の農水産業 砂丘であることから水田には向かない →かんがい設備が必要 長芋・日本なしは特におさえる。 ・瀬戸内地方の農水産業 山地で囲まれ雨が少ない →①ため池・香川用水が必要 ②果樹の栽培に適する 瀬戸内…穏やかな内海→養殖がさかん ・南四国地方の農水産業 黒潮の影響 →①春先でもあたたかい→促成栽培 ②かつおをはじめとした漁業基地 <p>③ 中国・四国地方の工業・産業</p> <p>瀬戸内沿岸の工業特色をおさえたい。臨海部に集中した石油化学コンビナートを中心として、化学工業の割合が非常に高いことに着目させたい。せんい工業の割合が高い理由も化学工業に付随した化学繊維品の割合が高いということだと見ることができよう。</p> <p>工業が瀬戸内地方に集中することで各地方の過疎化が問題となっていることにも触れておきたい。</p> <p>発展学習</p> <p>① 神話の国・島根県</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 過疎化とその対策…特産物の地域ブランド化 (2) 「萩城下町」山口県…長州藩・明治日本の産業革命遺産 (3) 「神話の国」島根県 <p>出雲大社…国ゆずりの神話 東京駅～岡山駅～出雲市駅に寝台特急「サンライズ出雲」が運行</p> <p>② 中国・四国地方の各県のすがた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県→岡山市(政令指定都市) ・広島県→広島市(政令指定都市) ・鳥取県→鳥取市 ・島根県→松江市 ・山口県→山口市 ・香川県→高松市 ・愛媛県→松山市 ・徳島県→徳島市 ・高知県→高知市

指導のねらい ★近畿地方の自然と位置上の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 近畿地方の位置・自然 【基本1】</p> <p>(1) 近畿地方の位置 ・西日本の経済・文化の中心→大阪府 ・人口 約 2260 万人 ・面積 約 33100km² ・日本の国土の約 9% →大阪府の人口は日本第 3 位(約 884 万人)</p> <p>(2) 近畿地方の自然</p> <p>①山地・山脈 ・北部：丹波高地 ・南部：紀伊山地 ・三重，滋賀の境→鈴鹿山脈</p> <p>②川・平野・盆地 ・水の流れ＝琵琶湖→淀川(京都盆地)→大阪平野 ・紀伊山地＝紀ノ川・有田川(ありだ)・熊野川 ・木材運ばん(熊野川)→いかだ流し</p> <p>(3) 近畿地方の気候・災害 ・北部：日本海に面する→雪が多い ・中部：盆地(奈良盆地)→水不足(ため池による対策) ・南部：紀伊半島・尾鷲市(日本最多雨地帯)→台風の通り道</p> <p>(4) 近畿地方の美しい自然・名所</p> <p>①天橋立[日本三景] 京都宮津市→砂がつもる景色＝天橋立</p> <p>②日本標準時子午線 兵庫県明石市(東経 135 度) →日本の時刻を決める経線が通る</p> <p>③近畿地方の世界文化遺産 ・姫路城(兵庫県姫路市) ・法隆寺地域の仏教建造物(奈良県斑鳩町) ・古都奈良の文化財(奈良市) ・古都京都の文化財(京都市周辺) ・紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県，奈良県，三重県)</p> <p>② 近畿地方の農林水産業 【基本1】</p> <p>(1) 近畿地方の農業</p> <p>①稲作＝近江盆地(滋賀)，播磨平野(兵庫) ②畑作・野菜＝近郊農業→淡路島(たまねぎ，草花) ③果樹・工芸作物＝和歌山(みかん，うめ，かき)， 京都(宇治茶)</p> <p>(2) 近畿地方の林業＝紀伊山地(新宮市)，吉野すぎ・ 尾鷲すぎ(日本三大美林)</p> <p>(3) 近畿地方の水産業＝リアス(式)海岸(志摩半島， 三重県)での真珠養殖，瀬戸内海沿岸(兵庫県)に て，のりの養殖</p> <p>③ 近畿地方の工業・産業 【基本2】</p> <p>(1) 阪神工業地帯…中小工場中心→かつてせんい工業 →現在は[鉄鋼業(尼崎・和歌山)，化学工業(大阪・ 堺)，電気機械(東大阪，門真，八尾)，錦織物(泉大 津，岸和田，貝塚)]</p> <p>(2) 近畿地方の伝統的工芸品…京都府(西陣織，京友 禅，清水焼)，滋賀県(信楽焼)，奈良県(奈良筆)， 三重県(万古焼)</p> <p>(3) 近畿地方の貿易港・交通</p> <p>①神戸港＝ポートアイランド→コンテナ専用埠頭 (衣類，たばこ) ②関西国際空港＝騒音公害がなく 24 時間離発着可能 ③明石海峡大橋＝世界最長のつり橋(本州—四国： 神戸～鳴門ルート) ④東海道・山陽新幹線 名神高速道路 新大阪駅の東側＝東海道新幹線(東京駅～新大阪駅) 新大阪駅の西側＝山陽新幹線(新大阪駅～博多駅) 名神高速道路＝兵庫県西宮市～愛知県小牧市 (日本で一番古い高速道路)</p>	<p>① 近畿地方の位置・自然</p> <p>・近畿地方の地形 各地方の特徴をイメージできるようにしたい。農林水産業と関連 するものはリンクさせておくことが重要事項の定着につながる。 おもな山地 紀伊山地 太平洋側で降水量最多(大台ヶ原山) →林業：人工美林…吉野すぎ・尾鷲ひのき おもな河川・湖 琵琶湖→こい・ふな，水質保全の努力 大阪・神戸(政令指定都市・臨海部)→工業地区の集中 淡路島(大消費地[大阪・神戸]に隣接)→近郊農業 志摩半島(リアス式海岸)→真珠の養殖</p> <p>・近畿地方の国立公園・名所 近畿地方の世界遺産は図で問われることが多い。テキストの写真 を使用するほか，10 円玉の平等院鳳凰堂を示すなどして身近なもの にしたい。また歴史的分野との関係も深いところなので歴史分 野との結びつきを考えたいところでもある。</p> <p>・近畿地方の気候 気候は地形の影響を多大に受けることに留意して説明したい。</p> <p>② 近畿地方の農林水産業 農林水産業は地形・気候との関係を確認しながらその特徴をおさえ ていくようにしたい。テキスト上のグラフなどで，特産農水産物を， 他の特産とする県との間で比較しておくようにしたい。</p> <p>③ 近畿地方の工業・産業 日本第二の都市大阪を中心として工業地帯が発達していることに注 目させたい。既習の範囲でもあるので，その部分とも対照させながら 授業をすすめたい。</p> <p>・おもな工業と工業都市 各工業都市の名前を覚えさせるより，まず地域ごとの特色を覚え る方が有益である。 臨海地区：重化学工業 内陸地区：機械工業 泉南地区：綿工業 ・伝統的工芸品 関西国際空港 従来の大阪国際空港は，市街地にあるため騒音公害が深刻になり， 午後 9 時から翌朝 7 時までの飛行が制限されたが，便は増加，離着陸 の回数は限界に達したので，泉州沖を埋め立て人工島をつくり，24 時 間離着陸のできる新空港を建設，1994 年に開港。24 時間営業のコン ビニエンスストアとの類似から「コンビニ空港」とも言われる。</p> <p>発展学習</p> <p>① 近畿地方の都市の街づくり</p> <p>(1) 京都市・奈良市 かつて都がおかれていたところ 文化財…寺社・祇園祭など・京都…町屋 →美しい景観をそこなわれないような取り組み</p> <p>(2) 大阪市 かつて「天下の台所」 大正時代以降：私鉄を中心に都市開発 大阪市の JR 大阪駅に隣接する立地に私鉄の「ターミナル駅」 →私鉄経営の百貨店 沿線：保養地「有馬温泉」，宝塚市に遊園地や劇場，西宮市に野球場 「ターミナル駅」(その路線の起点や終点となる駅)の再開発 →高層ビルの林立</p> <p>② 近畿地方の各府県のすがた</p> <p>・滋賀県→大津市 ・三重県→津市 ・奈良県→奈良市 ・京都府→京都市(政令指定都市) ・大阪府→大阪市(政令指定都市)</p>

指導のねらい ★ 11 回～第 14 回までの重要事項を再確認し、徹底する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 第 11 回の復習</p> <p>(1)</p> <p>A ロシア連邦…首都「モスクワ」 B 中華人民共和国…首都「北京」 C 朝鮮民主主義人民共和国…首都「ピョンヤン」 D 大韓民国…首都「ソウル」</p> <p>(4)</p> <p>① 択捉島…北海道 ② 南鳥島…東京都 ③ 沖ノ鳥島…東京都 ④ 与那国島…沖縄県</p> <p>(5) 日本の標準時子午線…兵庫県明石市「東経 135 度」</p> <p>② 九州，中国・四国，近畿地方の農業</p> <p>(1) 各地の生産高割合と上位 2 県で判断</p> <p>A 北海道 B 和歌山，愛媛 C 高知，熊本 D 北海道 E 長崎，千葉 F 熊本 G 茨城，宮崎 H 宮崎，鹿児島(順位入れ替わりがよくある) I 北海道，鹿児島 J 静岡 K 鹿児島 L 鹿児島，宮崎 M 沖縄</p> <p>(2) 淡路島→本州(明石海峡大橋) →四国(大鳴門橋)</p> <p>(3) だんだん畑(急斜面の畑) = 棚田(急斜面の田んぼ)</p> <p>(4) 栽培方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促成栽培(ビニールハウス利用など)出荷時期を早める ・抑制栽培(露地栽培)出荷時期を遅らせる <p>(6) 沖縄の菊→電照菊(開花時期をずらす)</p> <p>③ 九州，中国・四国，近畿地方の自然</p> <p>(1) (2)</p> <p>A 熊本県 三大急流(最上川，富士川，球磨川) B 福岡県 暴れ川 (利根川・坂東太郎，筑後川・筑紫次郎，吉野川・四国三郎)</p> <p>C 徳島県 大歩危・小歩危 D 和歌山県 熊野古道(世界遺産) E 広島 原爆ドーム(世界遺産) F 大阪府 琵琶湖水源 (三大湖 琵琶湖，霞ヶ浦，サロマ湖)</p> <p>G 高知県 三大清流 [柿田川(静岡)，長良川(岐阜，三重)，四万十川(高知)]</p> <p>(3) I 奈良県 J 広島県 K 鹿児島県 L 島根県 M 京都府 N 兵庫県 O 沖縄県</p> <p>(5) ア 沖縄県 イ 三重県 ウ 宮崎県 エ 香川県</p>	<p>① 第 11 回の復習</p> <p>日本の周辺の数々の国名・首都・現在の首脳，日本との領土問題(北方領土・竹島・尖閣諸島)，南鳥島における近年の重要性(新たな資源の可能性)，沖ノ鳥島の重要性(なぜ護岸工事しているのか)</p> <p>② 九州，中国・四国，近畿地方の農業</p> <p>授業では各地方ごとにまとめがちであるが，重要事項の確認のような区分も各地方の農産物を覚える上で有益である。大まかな区分ではあるが，この区分にあてはまる地域を述べさせるなどして知識の定着をはかることもできる。また地域によって作物の中身は異なっている。どのような作物が特に作られているのかまで問うこともできる。</p> <p>ここでは各地方の農産物について，特に重要と思われるものについて確認をし，残りは演習問題等で定着をはかりたい。</p> <p>主な農産物は，その生産量の特により(生産量が全国 1，2 位の)県名を確認しておくことよい。演習問題に出てきているものを中心に効率よくおさえておくことよい。</p> <p>* 農作物や畜産などは伝染病(口蹄疫・鳥インフルエンザなど)や不作などで順位に影響があることもあるので，ニュースに注意する必要がある。</p> <p>③ 九州，中国・四国，近畿地方の自然</p> <p>重要事項の確認では各地の気候を取り上げたがここから逆に地形を取り上げる方法もあれば，地形をあげさせた上でそこからこのような気候になるということを説明してもよい。特に山地・山脈が気候に大きな影響を与えることはきちんと理解させておこう。また潮流が関係することもあまり多くは触れていないかもしれないが，ここで確認の意味もこめて触れておくことよい。</p> <p>基本的な山地・山脈・河・湖・平野等を覚えているか確認したい。各回のポイントでも述べているが農水産業と密接に関係していることが多いのでその点にも触れながら確認すると農水産業についても定着がはかれる。</p> <p>世界遺産や名所(日本三景など)は文化・歴史と絡んで出題されることも多い。写真や地図を見ながら再確認をしておいた方がよいであろう。</p>

指導のねらい ★中部地方の自然と位置上の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産業、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 中部地方の位置・自然 【基本1・2】</p> <p>(1) 中部地方の位置 中部地方→9つの県を持つ最大の地方 ・面積→東北地方と同じくらい(66800km²) ・人口→約2150万人・面積最大→長野・人口最大→愛知 北陸地方→新潟、富山、石川、福井(日本海側) 中央高地→山梨、長野、岐阜(内陸) 東海地方→静岡、愛知(太平洋側)</p> <p>(2) 中部地方の自然</p> <p>① 中部地方の山地・山脈 長野…「日本の屋根」 ・日本アルプス…飛騨・木曾・赤石(北→南) 富士山(日本最高峰)…標高3776m 北岳〔白根山〕(2番目に高い)…標高3193m</p> <p>② 中部地方の川・平野・盆地 越後平野 信濃川(日本最長) 富山 黒部川(黒部第四ダム…アーチ式) 岐阜 濃尾平野 木曾三川(木曾・長良・揖斐川)「輪中」 甲府盆地〔扇状地〕 富士川(日本三大急流) 諏訪盆地・諏訪湖→天竜川 牧ノ原(米の産地)→大井川</p> <p>(3) 中部地方の気候 ・北陸地方(日本海側の気候) 対馬海流→冬の豪雪(がんぎ、消雪パイプ) ・中央高地(内陸性の気候) 温度差(昼夜・夏冬)大きい、雨が少ない ・東海地方(太平洋側の気候) あたたかく夏に雨が多い</p> <p>(4) 中部地方の名所・特色ある地形</p> <p>① 白川郷・五箇山の合掌造り集落〔世界文化遺産〕 岐阜県北部→白川郷 富山県南部→五箇山</p> <p>② 富士山―信仰の対象と芸術の源泉〔世界文化遺産〕 山梨県と静岡県の県境→富士山と富士五湖 富士五湖…河口湖・山中湖・西湖・本栖湖・精進湖</p> <p>③ 兼六園 石川県金沢市…「加賀百万石」の城下町 日本三名園…兼六園(石川県金沢市)偕楽園(茨城県水戸市)後楽園(岡山県岡山市)</p> <p>④ 善光寺 長野県長野市…善光寺の門前町として発達</p> <p>⑤ 若狭湾 福井県→リアス式海岸…原子力発電所(原発銀座)</p> <p>⑥ 釜山反射炉〔世界文化遺産〕 静岡県伊豆の国市「明治日本の産業革命遺産」</p> <p>② 中部地方の農林水産業 【基本1・2】</p> <p>(1) 農業</p> <p>① 稲作 北陸地方…豊富な雪どけ水→農業用水に利用 新潟県(越後平野)…湿田→あんきょ排水→乾田(コシヒカリ)</p> <p>② 野菜 愛知県…近郊農業 長野県(野辺山原)…高原野菜</p> <p>③ 果実 甲府盆地・長野盆地→扇状地…ぶどう・もも</p> <p>④ 工芸作物・花 静岡県(牧ノ原)…茶(大井川流域) 愛知県(渥美半島)…きく(電照菊) 富山県・新潟県…チューリップ</p> <p>(2) 林業・水産業 木曾ひのき(木曾川上流)…日本三大美林(青森ひば・秋田すぎ・木曾ひのき)のひとつ 焼津漁港(静岡県)…遠洋漁業の基地→かつお・まぐろ水産加工業 浜名湖(静岡県)…一色町(愛知県)…うなぎの養殖</p> <p>③ 中部地方の工業・産業 【基本2】</p> <p>(1) 中部地方の工業地帯・地域</p> <p>① 中京工業地帯…愛知県・岐阜県・三重県にまたがる工業地帯 機械工業(特に自動車工業)…豊田(企業城下町) 鉄鋼(東海) 陶磁器(瀬戸) せんい工業(毛織物)</p> <p>② 東海工業地域…静岡県の臨海部に発達した工業地域 交通の便が良い→東名高速道路・東海道新幹線 製紙・パルプ工業(富士) 楽器・オートバイ工業(浜松)</p> <p>③ 北陸地方の工業 伝統的工芸品…冬の積雪期間の家内工業として発達 めがね枠(福井県鯖江市) アルミサッシ(富山県高岡市)</p> <p>④ 中央高地の工業 諏訪湖周辺(長野県諏訪市・岡谷市) 戦前 製糸業→戦後 精密機械工業(時計・カメラ) →現在 電気機械工業(電子部品・プリンタ)</p> <p>(2) 中部地方の貿易港・交通 名古屋港(愛知県)…成田国際空港・東京港に次いで貿易額第3位 中部国際空港(愛知県常滑市)…「セントレア」 北陸新幹線…東京～長野～富山～金沢(福井県敦賀市まで延伸予定)</p>	<p>① 中部地方の位置・自然</p> <p>北陸地方・中央高地・東海地方はそれぞれ気候も農業も工業も異なったものとなっている。それぞれの特徴をイメージとしてもつことができるようにしたい。</p> <p>中部地方の地形 ・日本アルプスは北から順に名前を覚えてしまうようにしたい。 飛騨山脈・越後山脈は、北陸地方の積雪に大きく関係していることにも留意しておきたい。 ・北陸は日本一の豪雪地帯 沖を流れる対馬海流のつくる上昇気流によって、北西の季節風は日本海をわたる間に多量の湿気(水蒸気)を含み、その風が日本海に面した高い山地に当たって、多量の雪を降らせる。 ・山脈が多いので、流れる川も多くなるが、四大公害病と関連するものや、日本最長の川・三大急流の一つと特徴のあるものが多い。地域と関連づけて覚えられるようにしたい。</p> <p>② 中部地方の農林水産業</p> <p>農業も北陸地方・中央高地・東海地方と各地方によって特色が異なる。地域ごとに見ていくのも面白い。大まかな特徴は各特産を覚える上で役立つ。</p> <p>北陸地方…稲作 中央高地…高冷地農業・果樹 東海地方…近郊農業 →中央高地は低温を利用し(ex. 長野のりんご) 東海地方は温暖さを利用している(ex. 静岡のみかん)</p> <p>③ 中部地方の工業・産業</p> <p>・中京工業地帯 自動車工場の豊田市は当然であるが瀬戸・東海・四日市などもおさえなければならない。これらの都市の生産品をみると機械(自動車)工業・軽工業・鉄鋼業・化学工業と各工業が一通りそろっている。これが中京工業地帯の生産性に一役かかっているものとして見ることもできよう。 企業城下町豊田 企業が市を経済的に援助し、その財政を支え、住民の生活全般が、何らかの形で自動車関連企業と関連をもっている。</p> <p>・東海工業地域 2つの工業地域(京浜工業地帯・中京工業地帯)には含まれる交通の便がよいため発展した。なぜ? →2つの工業地帯の関連分野(部品工場等)で工業が発展しやすい。 水力発電所による電力が確保できた。 さらに浜松のオートバイ・楽器や富士の製紙、蒲原のアルミニウムなど他の工業地帯・工業地域で手薄なものが主力商品になっていることもこの地域の工業が発展してきた背景として考えられる。</p> <p>・北陸工業地域 冬期の降雪のためもともと伝統工業がさかんな地域である。どの地域で行われるのか白地図等で確認できるようにしておきたい。</p> <p>・中央高地の工業 精密機械工業が発達した背景には水がきれいなことがあることも指摘しておきたい。→諏訪湖</p> <p>発展学習</p> <p>① 中央新幹線</p> <p>(1) 中央新幹線…超電導技術を利用した「リニアモーターカー」による新幹線 東京～名古屋の間で建設中(2027年の開業予定)、最大時速500kmをこえる高速輸送システム(東京～名古屋を約40分)、2045年には大阪までの延伸計画(東京～大阪を約60分)</p> <p>(2) 建設ルート 赤石山脈・木曾山脈の地下→なるべく短いきより建設工事→経済効果</p> <p>② 中部地方の各県のすがた</p> <p>・新潟県→新潟市(政令指定都市) ・富山県→富山市 ・石川県→金沢市 ・福井県→福井市 ・山梨県→甲府市 ・長野県→長野市 ・岐阜県→岐阜市 ・静岡県→静岡市(政令指定都市) ・愛知県→名古屋市(政令指定都市)</p>

指導のねらい ★関東地方の自然と位置上の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産業、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 関東地方の位置・自然 【基本1】</p> <p>(1) 関東地方の位置 関東地方→日本人口の約30%以上の住民(約4280万人) ・東京、神奈川の人口は日本の1位、2位 ・山梨、長野、新潟を加え→関東甲信越地方 ・関東地方+山梨→首都圏</p> <p>(2) 関東地方の自然</p> <p>① 関東地方の山地・山脈 越後山脈・関東山地 関東と中部の境界 伊豆諸島 大島・八丈島・三宅島(噴火→避難)</p> <p>② 関東地方の川・平野・台地 利根川(流域面積1位)「坂東太郎」 上流：矢木沢ダムなど「首都圏の水がめ」約3/4 残り→多摩川上流：小河内ダム…約1/4 下流：霞ヶ浦(水郷地帯…早場米) 中禅寺湖(日本一高い所にある湖) 武蔵野台地・下総台地…関東ローム</p> <p>(3) 関東地方の気候 ・太平洋側 温暖で、夏は多雨、冬は乾燥 ・南西諸島 一年中気温が高く、雨が多い 「屋敷森→からっ風がふく」</p> <p>(4) 関東地方の名所</p> <p>① 偕楽園…茨城県水戸市 御三家水戸徳川家の庭園 日本三名園のひとつ(兼六園(金沢)、後楽園(岡山)) ② 日光の社寺[世界文化遺産]…栃木県日光市 徳川家康をまつる日光東照宮 ③ 小笠原諸島[世界自然遺産]…東京都 世界的に貴重な生物の生息地 ④ 富岡製糸場と絹産業遺産群[世界文化遺産]…群馬県富岡市 日本の近代産業の原点 ⑤ 利根川下流の水郷…霞ヶ浦(日本第2位の面積の湖) 水郷(茨城県潮来市) 早場米</p> <p>② 関東地方の農水産業 【基本1】</p> <p>(1) 関東地方の農畜産業</p> <p>① 稲作・畑作 栃木、茨城を中心、東山地方(長野、山梨)を含む生産量→全国の20% ・下総台地→畑作(さつまいも、らっかせい) ・下仁田(群馬)→こんにゃく、ねぎ</p> <p>② さかんな野菜の生産・畜産業 近郊農業→千葉、茨城、埼玉 促成栽培→千葉(房総半島) 高原野菜→群馬県の嬭恋村(キャベツ) ※ 乳用牛・ふた→栃木県・群馬県・千葉県</p> <p>(2) 関東地方の水産業 千葉県→銚子漁港=沖合漁業(さば、いわし、さんま) 神奈川県→三崎港=まぐろ</p> <p>③ 関東地方の工業・産業 【基本1・2】</p> <p>(1) 関東地方の工業地帯・地域</p> <p>① 京浜工業地帯(東京湾西岸臨海部) 機械工業(横浜の自動車) 出版・印刷(東京都心部)</p> <p>② 京葉工業地域(千葉) 金属・化学工業の割合が高い 君津・市原</p> <p>③ 関東内陸工業地域(埼玉・群馬・栃木) せんい(養蚕)(桐生)→機械工業(自動車)(太田) (自動車部品)(伊勢崎)</p> <p>④ 鹿島臨海工業地域(茨城) ほり込み港…石油化学コンビナート</p> <p>(2) おもな貿易港 成田国際空港(千葉県)…日本最大の貿易額・精密機械・集積回路 東京港…魚介類・肉類輸入 横浜港…自動車輸出</p>	<p>① 関東地方の位置・自然</p> <p>日本最大の関東平野をもつ関東地方には東京に住む1300万人をはじめとして多くの人が生活している。人々の生活と関連づけて自然も見ていくようにしたい。</p> <p>・関東地方の山地・火山 越後山脈・関東山地は中部地方との境界になっているが、これらの山脈・山地をこえるとどのような場所になるのか前回の復習も兼ねておきたい。 伊豆諸島は火山活動が活発である。火山の噴火は自然災害であり、人々の生活に多大な影響を与える。最近では三宅島があった。</p> <p>・関東地方の河川・湖 関東地方は夏になると毎年のように水不足が心配されている。人口が集中しているためその消費量も当然多くなる。それでも利根川上流のダムのおかげで深刻な被害には至っていない。</p> <p>・関東地方の台地 屋敷森と呼ばれる植木はまさに生活と密接に結びついたものである。北西からの季節風が山地・山脈を越えて吹き下ろすのでそれを防いだもの。季節風や山地・山脈にも注意を払いたいところである。</p> <p>・増加する東京の人口 東京…過密→戦後：ドーナツ化現象・近年：都心回帰→人口増加率全国一</p> <p>・ヒートアイランド現象 東京の都心：夏の気温が異常に高くなる→エアコンやアスファルトなどからの熱…ゲリラ豪雨などの原因の一つ 対策として、省エネルギー対策、再生可能エネルギー・屋上緑化・保水性舗装などが推進されている。</p> <p>② 関東地方の農水産業</p> <p>大都市周辺であることがポイントである。いかに大都市に多くの作物をとどけているかという観点から見ていきたい。また各地の特産品はおさえておくようにしたい。</p> <p>・近郊農業 千葉 野菜の生産量全国一 首都圏・温暖な気候・面積の広さ・利根川からの用水→地理的有利性</p> <p>・高冷地農業 季節をずらすことで消費地に作物を出荷。新鮮なままの作物をとどけるためコールドチェーン等の工夫がなされている。しかし競争相手も多い。とれすぎれば値段も上がらない等問題点も出てきている。</p> <p>・関東地方の水産業 水産業の分野ではポイントの一つである。第2位の銚子の水揚げ量及びいわしやサンマの沖合い漁業が中心であることは必ずおさえるようにしたい。</p> <p>③ 関東地方の工業・産業</p> <p>特に各工業地帯・工業地域の特色がきちんとおさえられているか確認することが大事である。特色的部分は板書例の方も参照してもらいたい。また野田・銚子の醸造業(しょうゆ)についても確認しておきたい。</p> <p>・利根川下流域と醸造業の発達 醸造(しょうゆ・みそや清酒)に必要な原料(大豆・麦・米)が多くとれ、豊富な水があり、消費地の江戸とは利根川・江戸川などでじかに結ばれ、輸送に便利であったことにより、江戸時代から醸造がさかんであった。</p> <p>発展学習</p> <p>① 関東北部と外国との結びつき</p> <p>(1) 茨城港からの出荷 関東内陸工業地域→北関東自動車道→茨城港 (2) 外国人との共生 工業団地…群馬県太田市周辺 ブラジルからの労働者(日本人移民の子孫である日系人) 異なる文化をもつ人々との共生…外国人子女のための日本語教室の設置(小中学校に) 看板や刊行物での日本語とポルトガル語の併記</p> <p>② 関東地方の各都県のすがた</p> <p>・茨城県→水戸市 ・栃木県→宇都宮市 ・群馬県→前橋市 ・埼玉県→さいたま市(政令指定都市) ・千葉県→千葉市(政令指定都市) ・東京都→東京 ・神奈川県→横浜市(政令指定都市)</p>

指導のねらい ★東北地方の自然と位置上の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 東北地方の位置・自然 【基本1・2】</p> <p>(1) 東北地方の位置 本州の最も北→本州の約30%の大きさ ・岩手県、福島県は北海道に次ぐ面積 ・青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島の六県</p> <p>(2) 東北地方の自然 ①東北地方の山地・山脈 中央 奥羽山脈…「東北の背骨」 日本海側 出羽山地 太平洋側 北上高地・阿武隈高地 ・岩木山〔津軽富士〕・岩手山〔南部富士〕・磐梯山</p> <p>②東北地方の川・平野・盆地 ・岩木川：津軽平野(りんご) ・米代川：能代平野・秋田すぎ(天然の日本三大美林) ・雄物川：横手盆地・秋田平野(稲作) ・最上川(日本三大急流) ・北上川 ・阿武隈川</p> <p>(3) 東北地方の気候・災害 ①太平洋側の気候 千島海流〔親潮〕とやませ→冷害 三陸海岸→リアス(式)海岸(津波被害をうけやすい)</p> <p>②日本海側の気候 対馬海流：夏…フェーン現象、冬…北西の季節風と降雪 ※東北地方の世界遺産…白神山地(青森・秋田) ぶなの原生林</p> <p>(4) 東北地方の美しい自然・年中行事 ①松島〔日本三景〕…宮城県仙台湾→「天橋立」(京都府)「宮島」(広島県) ②白神山地〔世界自然遺産〕…青森県と秋田県の県境ぶなの原生林 ③平泉－仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－〔世界文化遺産〕…岩手県平泉町 中尊寺 金色堂 毛越寺 奥州藤原氏(清衡・基衡・秀衡) ④橋野鉄鉾山・高炉跡〔世界文化遺産〕…岩手県釜石市 明治日本の産業革命遺産 ⑤東北四大祭り…青森の「ねぶた」 秋田の「竿燈」 仙台の「七夕」 山形の「花笠」</p> <p>② 東北地方の農林水産業 【基本1・2】</p> <p>(1) 農業・畜産業 ①稲作…稲作中心の農業：水稲の生産量全国の約1/4 ・宮城：ササニシキ→ひとめぼれ 仙台平野 ・秋田：あきたこまち 大潟村(八郎潟を干拓) ・山形：庄内米(はえぬき) 庄内平野</p> <p>②くだもの・畜産業…さかんなくだもの生産 盆地＝水はけのよさ・昼夜の温度差 ・りんご(青森)…全国の約50% ・もも(福島)…全国2位・ぶどう(山形)…全国3位 ・おうとう(山形)…全国の約70% ※小岩井農場(岩手県)→乳用牛を飼う酪農(乳製品の生産)</p> <p>(2) 林業 森林資源が豊富→津軽ひば(青森)、秋田すぎなど三大美林</p> <p>(3) 水産業 ・太平洋側 潮目…暖流と寒流が合流 ・魚介類→リアス(式)海岸は最適の漁港 養殖 ほたて貝(陸奥湾)・かき(仙台湾)</p> <p>③ 東北地方の工業・産業・交通 【基本2】</p> <p>(1) 東北地方の工業 高速道路・空港の建設→IC工場の進出</p> <p>(2) さかんな電源開発 ①水力発電 奥只見ダム・田子倉ダム ②原子力発電 福島県太平洋側→停止 放射性廃棄物処理→青森県六ヶ所村 ③地熱発電 松川(岩手)：最初の地熱発電 葛根田、鬼首(宮城)</p> <p>(3) 東北地方の伝統的工芸品 冬の雪で農業ができない→伝統的工芸品の発達 津軽塗(青森)・曲げわっぱ(秋田)・南部鉄器(岩手)・宮城伝統こけし(宮城)・天童将棋駒(山形)・会津塗(福島)</p> <p>(4) 東北地方の交通 東北・北海道新幹線(東京～新函館北斗) はやぶさ号[最速運転・東京～新函館北斗]、はやて号[東京～新函館北斗]、やまびこ号[東京～仙台・盛岡] などの号[東京～郡山] 秋田新幹線 こまち号[東京～盛岡～秋田] 山形新幹線 つばさ号[東京～福島～新庄]</p>	<p>① 東北地方の位置・自然</p> <p>東北地方は豊かな自然が残る地域であるとともに、地形にも特色のあるものが多い。多くの山々から川が流れ出し豊かな湖をつくりだしている。白地図を使い、何度も確認することで記憶の定着を確実にしたい分野である。</p> <p>テキストにはあまり重要視されていないが半島が多いのも東北地方の特色である。ポイントとなる半島名とその場所はおさえるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災 東日本大震災での被害の大きさやその後の影響と、復興への取り組みが懸命に行われていることをおさえるようにする。 ・東北地方の山地・山脈 奥羽山脈及び各山地や高地の名前はきちんと覚えることが必要である。ここで奥羽山脈の両側に着目させることがポイントとなる。各山地・高地との間に盆地が多い。この組み合わせを考えることで東北地方の地形の構造が覚えやすくなるはずである。 ・東北地方の川・平野・盆地 東北地方の河川・湖は各産業に関係するものが多い。各産業との関連は確実におさえたい。 ・東北地方の海岸 特徴を覚えること。漁業との関係で確認したい。 ・東北地方の国立公園と名所、祭り 日本三景を復習したい。名前の他にその場所も確認すること。 東北三大祭りは非常に有名であるのですべておさえるようにしたい。8月に行われることも重要(豊作祈願を意味するから)。 ・東北地方の気候 海流の名前をまず覚えたい。風がどの方向から吹いてきてどのような影響を与えるのか理解できるようにしたい。 <p>② 東北地方の農林水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲作中心の農業 全国屈指の米どころである。単作であることはおさえる必要がある。新潟(コシヒカリ)や北海道(きらら397)の品種も確認したいところである。 ・さかんなくだもの生産 青森のりんごの他、福島・山形のくだものはグラフを絡めた類出事項である。盆地名との関連でもおさえておきたい。 <p>③ 東北地方の工業・産業・交通</p> <p>まず冬に雪が多いため農業ができないことをおさえたい。伝統的工芸品は発達したが、冬の間関東などへ出稼ぎへ行くことも多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかんな伝統工業 多くの伝統的工芸品があるが、名前ぐらひは覚えておきたい。主要なものに関しては、どこで生産されるのかも確認しておいた方がよいであろう。 ・交通の発達と工業の発達 工業の発達は交通の便がカギを握ることが多い。最近できた交通網が多いので時事的なこととして定着させたい。 ・電力発電 エネルギーの分野では覚えるべき事項が多い地方である。関東地方のエネルギー供給に寄与をしている点にも目を向けたいところである。 <p>発展学習</p> <p>① 古くからの伝承</p> <p>(1) 民俗行事や民話 国の「重要無形民俗文化財」に指定…青森の「ねぶた」、秋田の「竿燈」、秋田県男鹿半島の「なまはげ」〔民俗行事〕など 民話の里…岩手県遠野地方「ざしきわらし」の話は有名</p> <p>(2) 津波の教訓 三陸海岸沿岸…古くから津波の被害→石碑 ハザードマップの作成など防災対策とともに防災文化の伝承が重要</p> <p>② 東北地方の各県のすがた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県→青森市 ・岩手県→盛岡市 ・秋田県→秋田市 ・宮城県→仙台市(政令指定都市) ・山形県→山形市 ・福島県→福島市

指導のねらい ★北海道地方の位置と自然の特徴について確認する。
★地域の特色をいかした農林水産、工業を学習する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 北海道の位置・自然 【基本1・2】</p> <p>(1) 北海道の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で最も北にある都道府県 ・人口 約540万人 ・面積 約83400km²(北方領土を含む) ・人口密度 約69人/km² 札幌市(約193万人)…政令指定都市 政令指定都市 = 2015年現在 全国に20都市 <p>(2) 北海道の自然</p> <p>①北海道の山地・山脈</p> <p>南北にかけて→日高山脈・天塩山地・北見山地・夕張山地</p> <p>「北海道の屋根」= 大雪山</p> <p>②北海道の川・平野・盆地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で三番目に長く、二番目の流域面積の川→石狩川 ・石狩川上流→上川盆地, 石狩川下流→石狩平野 <p>③北海道の気候</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期の気温→0℃を下回る = 冷帯〔亜寒帯〕 ・寒流(潮の流れ)→千島海流〔親潮〕 自然現象→濃霧(冷害の原因), 流水 <p>(3) 美しい北海道の風景</p> <p>①釧路湿原</p> <p>国立公園に指定→釧路湿原→・川の水量調節</p> <p>ラムサール条約 ・よごれた水をきれいに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物のすみか ・美しい景色による観光 <p>②知床(世界自然遺産)</p> <p>2005年に世界遺産に登録→世界でもっとも南に流水が着く</p> <p>(4) 北方領土問題</p> <p>北海道の東→択捉島(えとろふ), 国後島(くなしり), 色丹島(しこたん), 歯舞群島(はぼまい)の四島の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア連邦に対して返還要求を出している <p>② 北海道の農水産業 【基本1】</p> <p>(1) さかんな農水産業</p> <p>耕地が広い, 四方が海→農水産業がさかん(水田は少ない)</p> <p>農業生産額全国一</p> <p>(2) 農業・畜産</p> <p>①稲作 石狩平野・上川盆地→さらら397・ななつほし・ゆめぴりか</p> <p>②畑作 十勝平野, 北見盆地→じゃがいも, てんさい</p> <p>特徴→同じ畑で数種類の作物を一年ごとに植え替える = 輪作</p> <p>③畜産 酪農がさかん→根釧台地の乳牛, 肉牛</p> <p>(3) 水産業</p> <p>釧路港(オホーツク海に面している)→北洋漁業がさかん</p> <p>養殖 サロマ湖: ほたて貝, 日高・利尻: こんぶ</p> <p>③ 北海道の鉱工業・産業 【基本2】</p> <p>(1) 北海道工業の特色…食料品工業 製紙・パルプ</p> <p>(2) おもな工業都市…室蘭(金属工業都市)・苫小牧(最初の掘り込み港)</p> <p>(3) さかんな観光業…日本で最多の観光客</p> <p>→第三次産業の割合が高い</p> <p>(4) 北海道の交通…(空路)新千歳空港・青函トンネル(1988年開通)・北海道新幹線(新青森～新函館北斗; 2016年開通)</p>	<p>① 北海道の位置・自然</p> <p>まずは4つの山地・山脈, 主な平野・盆地と石狩川の位置関係をきちんと覚えさせたい。さらに平野や盆地はそこでどのような農業(稲作・畑作・酪農など)が行われるのかも確認したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の川・湖 釧路湿原・阿寒湖に関してはその名前も大事であるが, ラムサール条約やまりもとといった関連事項に気をつけたい。 ・ラムサール条約 1971年, イランのラムサールの会議で採択された条約。水鳥の生息地として, 国際的に重要な湿原を開発や環境破壊から守ろうとするもの。日本では, 釧路湿原のほか, 宮城県の伊豆沼・内沼, 北海道のクッチャロ湖, ウトナイ湖, 千葉県谷津干潟が指定された。 ・北海道の島・海 北方領土に関しては島の位置までおさえたい。 ・北海道の国立公園・名所 ナショナルトラスト運動 風光明媚で知られるイギリスの湖水地方の自然環境を保護するために地域住民がこの土地を買い取って管理することによって, 環境を破壊する開発からこの土地を守り抜いたことが先例となって, 世界の各地にこのような運動が広まった。 ・北海道の気候 梅雨・台風の影響がないため降水量が少ないという特徴はきちんとおさえる必要がある。その上で各地の特徴を比較しながらおさえるようにしたい。他の地域のどのような地域と似ているか考えると他の地域の復習にもなり, 理解も深まると思われる。 <p>② 北海道の農水産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の稲作 稲作に関する工夫はおさえておきたい。コシヒカリ・あきたこまち・ひとめぼれ等の品種についても復習しておきたい。 ・北海道の畑作 畑作の中心地は地図上でもおさえておこう。作物についてはグラフで他の県と比較しておくことが必要であろう。てんさい・はっかといった工芸作物は何になるのかまでおさえるようにしたい。 工芸作物 工業原料に利用するため栽培される作物のこと。 →食料品工業がさかんであることにつながる。 ・北海道の畜産業 根釧台地の酪農 十勝平野と並ぶ酪農のさかんな地域。濃霧のために稲作には向かず, 夏涼しい気候にあう酪農がさかんになった。食料品加工業との連携を深めて, 大規模な酪農が進められている。 <p>③ 北海道の鉱工業・産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道工業の特色 工業の種類も少ないので工業都市名とその都市の工業を確実におさえられるようにしたい。 <p>発展学習</p> <p>① 海外からの観光客</p> <p>最近, 台湾や香港, オーストラリアなど南半球の国々からの観光客が増加。</p> <p>② 北海道の開拓史</p> <p>(1) 明治時代 北海道開拓使 札幌の建設 屯田兵</p> <p>北海道の地名</p> <p>多くの地名…先住民であるアイヌ民族の言葉からとられた</p> <p>特に「ベツ」「ナイ」…いずれもアイヌ語で「川」や「沢」を表す。</p> <p>アイヌの人々は川で漁をして生活していたため川にちなんだ地名が多い。</p> <p>(2) 札幌農学校とクラーク「少年よ, 大志をいだけ」</p>

指導のねらい ★第16回～第19回までの重要事項を再確認し、徹底する。

重要事項の確認	補足知識・留意事項など
<p>① 第16回～第19回までの自然・農水産業・産業のまとめ</p> <p>(1) (2)</p> <p>A・長い川下流＝信濃川・稲作→新潟県 B・流域面積が大きい川＝利根川・しょうゆ→千葉県 C 川の特ちょう＝石狩川→北海道 D 川の特ちょう，周辺の特ちょう＝最上川→山形県 E 川の特ちょう，周辺の特ちょう＝富士川→静岡県 F 川の特ちょう，周辺の特ちょう＝木曾川→岐阜県 G 川の特ちょう，周辺の特ちょう＝北上川→宮城県</p> <p>(3) 扇状地，三日月湖→河口付近の土地の様子</p> <p>(4) H岐阜県 I 栃木県 J 秋田県 K 北海道 L 宮城県 M 茨城県 N 石川県</p> <p>(5) ⑧合掌造り→雪に強い⑨東照宮→世界遺産 ⑩白神山地→世界遺産⑪知床半島→世界遺産 ⑫松島→日本三景⑬偕楽園→日本三名園 ⑭兼六園→日本三名園</p> <p>(6) 気候の特ちょう</p> <p>ア 冬の降水量が多い→石川県 イ 冬の気温低い→長野県 ウ 年間平均気温低い→北海道 エ 夏の降水量が多い→東京</p> <p>② 第16回～第19回までの農畜産物のまとめ</p> <p>(1) 各生産高割合の特ちょう→品名，気候，土地の特ちょう</p> <p>(2) ア 根釧台地 イ 十勝平野，北見盆地 ウ 石狩平野，上川盆地</p> <p>(3) 新潟，富山の県花→チューリップ</p> <p>(4) 近郊農業→利点 大都市が近く輸送費がかからない 欠点 耕地面積が小さいので生産量が少ない</p> <p>(5) イチゴ→栃木，福岡</p> <p>③ 第16回～第19回までの工業のまとめ</p> <p>(1) A 市原→石油化学 B 鹿島→鉄鋼・石油化学 C 浜松→楽器・オートバイ D 瀬戸→陶磁器 E 帯広→精糖 F 札幌→食料品</p> <p>(2) A 港が近く鉄鋼がさかん B 豊田市を中心とした自動車工業 C 石油化学コンビナート D 水の資源が豊富で製紙パルプ E 水揚げがある漁港で水産加工 F (例) 輪島塗(輪島)・天童(将棋のこま)などの伝統工業</p>	<p>① 第16回～第19回までの自然・農水産業・産業のまとめ</p> <p>板書例では各地の気候を取り上げたがここから逆に地形を取り上げる方法があれば，地形をあげさせた上でそこからこのような気候になるということを説明してもよい。特に山地・山脈が気候に大きな影響を与えることはきちんと理解させておこう。また潮流が関係することもあまり多くは触れていないかもしれないが，ここで確認の意味もこめて触れておくとよい。</p> <p>基本的な山地・山脈・河・湖・平野等を覚えているか確認したい。各回のポイントでも述べているが農水産業と密接に関係していることが多いのでその点にも触れながら確認すると農水産業に関しても定着がはかれる。</p> <p>世界遺産や名所(日本三景など)は文化・歴史と絡んで出題されることも多い。写真や地図を見ながら再確認をしておいた方がよいであろう。</p> <p>② 第16回～第19回までの農畜産物のまとめ</p> <p>授業では各地方ごとにまとめがちであるが，板書例のような区分も各地方の農産物を覚える上で有益である。大まかな区分ではあるが，この区分にあてはまる地域を述べさせるなどして知識の定着をはかることもできる。また地域によって作物の中身は異なっている。どのような作物が特に作られているのかまで問うこともできる。</p> <p>ここでは各地方の農産物について，特に重要と思われるものについて確認をし，残りは演習問題等で定着をはかりたい。</p> <p>主な農産物は，その生産量の特に多い(生産量が全国1，2位の)県名を確認しておくとうい。演習問題に出てきているものを中心に効率よくおさえておくとうい。</p> <p>③ 第16回～第19回までの工業のまとめ</p> <p>農水産業よりも各地の特色が出やすい分野である。特色を覚える上で次のような点は確認しておくとういだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①地理:どのような場所に存在するのか。 →そこにあることの有利性 どのような工業が集まっているのかまで考えたい。</p> <p>②製品:何をつくっているのか→③</p> <p>③材料:どのようなものを使うのか →①地理的要因に還元される。</p> <p>④他の地域との違い(①②③のまとめ)</p> </div> <p>伝統的工芸品については主なものを産地と一緒に覚えることが必要である。伝統的工業がさかんな地域は，冬雪が降ることにより農業ができなかった地域に多いことも今一度確認しておきたい。</p> <p>交通・通信は工業の発達に大きく関係する。主な交通網等は各産業との関係で見えておくとよい。</p>